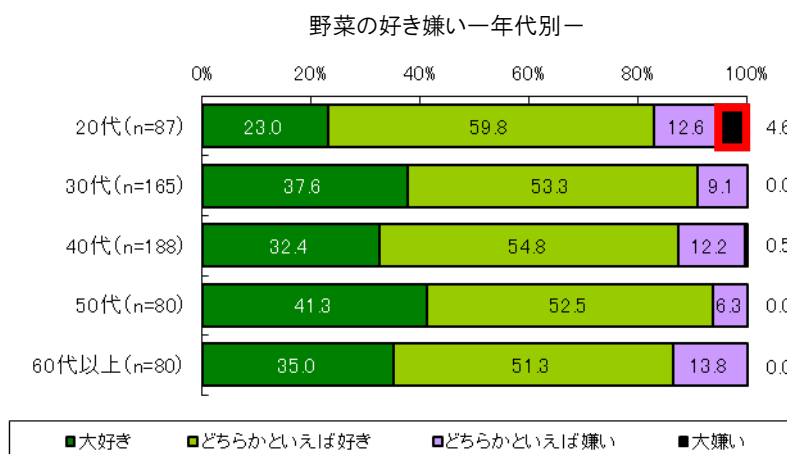
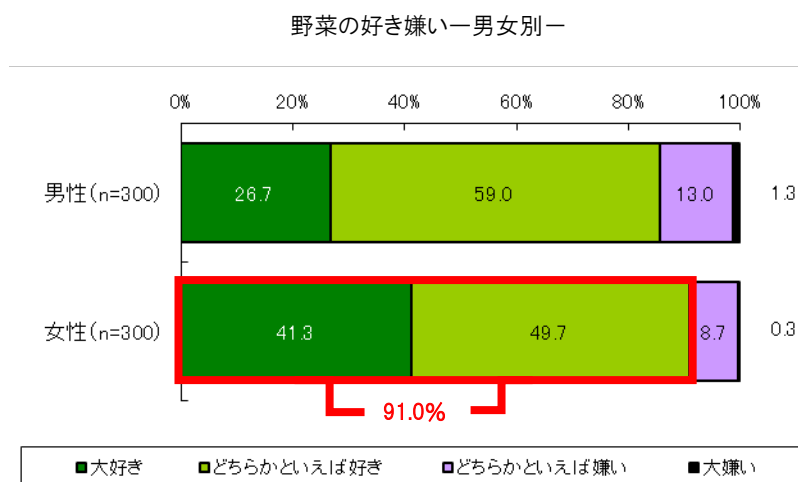
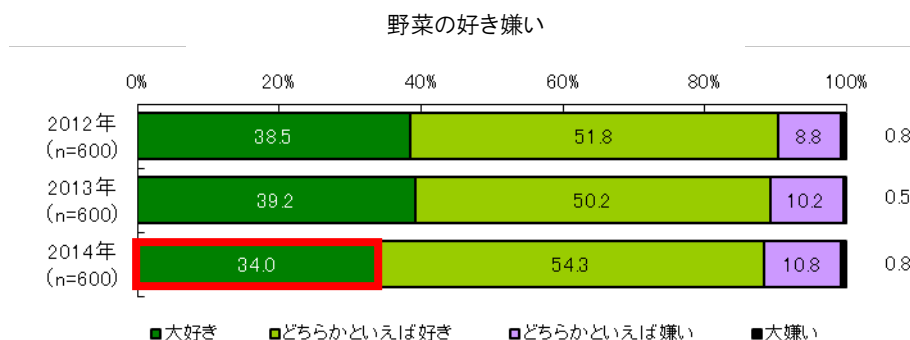


＜タキイ種苗 2014 年度 野菜と家庭菜園に関する調査＞ ～関連資料～

『タキイ種苗 2014 年度 野菜と家庭菜園に関する調査』のニュースリリースの調査結果や関連データは以下の通りです。

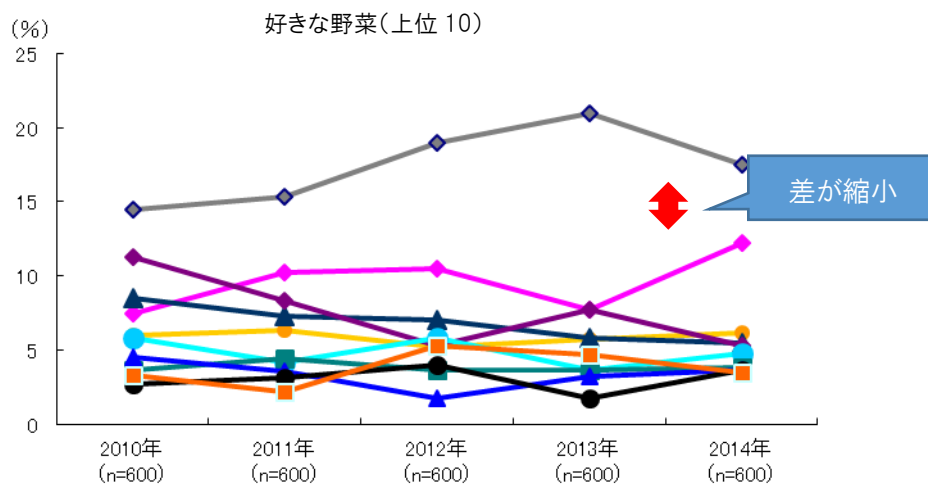
Q. あなたは野菜が好きですか？あてはまるもの一つに回答してください。

野菜の好き嫌い別の比率は、「好き」(大好き+どちらかといえば好き)が約 9 割を占めているとはいえ、過去 3 年でみると年々小幅な比率低下が続いている。特に目につくのは「大好き」の比率で、前年の 39.2%から 34.0%と 5 ポイントあまりも下げたことになる。男女別では女性の野菜好きが色濃く現れており、「好き」の比率は男性が 8 割台なのに対して、女性は 9 割を突破。特に「大好き」の比率は 41.3%と高い。一方、年代別ではややばらつきはあるものの、各年代とも「好き」の比率は 8～9 割台。目立つのは 20 代で、「大嫌い」の比率が 4.6%と高めだった。



Q. あなたが最も好きな野菜は何ですか？あてはまるもの一つに回答してください。

好きな野菜のトップは今回も「トマト」で、6年連続となった。今回の比率は17.5%で、前年よりもやや数値は低い、ほぼ5人に1人は「トマト」をあげたことになる。この「トマト」を追い上げてきたのが「じゃがいも」で、比率は12.2%。過去5年では最大値となった。「トマト」と「じゃがいも」以外は混戦模様で、「タマネギ」(6.2%)、「スイカ」(5.5%)、「メロン」(5.3%)の順であった。男女別にみると、男性は「トマト」と「じゃがいも」ともに比率が高いのに対して、女性は「トマト」が高く、「じゃがいも」はやや低めとなった。エリア別では、北海道が「じゃがいも」でトップを獲得。北海道の地域性が影響したものと思われる。

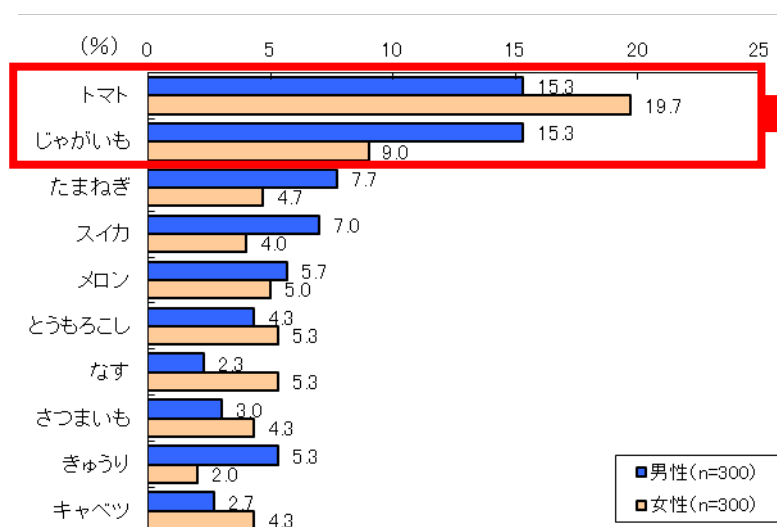


(%)

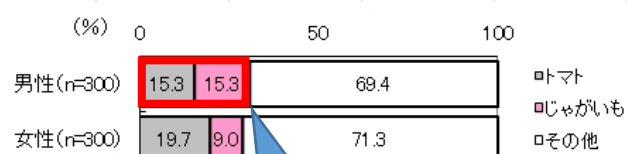
		2010年 (n=600)	2011年 (n=600)	2012年 (n=600)	2013年 (n=600)	2014年 (n=600)
1位	トマト	14.5	15.3	19.0	21.0	17.5
2位	じゃがいも	7.5	10.2	10.5	7.7	12.2
3位	たまねぎ	6.0	6.3	5.2	5.7	6.2
4位	スイカ	8.5	7.3	7.0	5.8	5.5
5位	メロン	11.3	8.3	5.3	7.7	5.3
6位	とうもろこし	5.8	4.2	5.8	3.7	4.8
7位	なす	3.7	4.4	3.7	3.7	3.8
8位	さつまいも	4.5	3.6	1.8	3.2	3.7
8位	きゅうり	2.7	3.1	4.0	1.8	3.7
10位	キャベツ	3.3	2.2	5.3	4.7	3.5
	好きな野菜は特にない	1.8	1.5	3.2	5.2	4.2

※順位は2014年度のものととなります。

好きな野菜(上位10)－男女別－

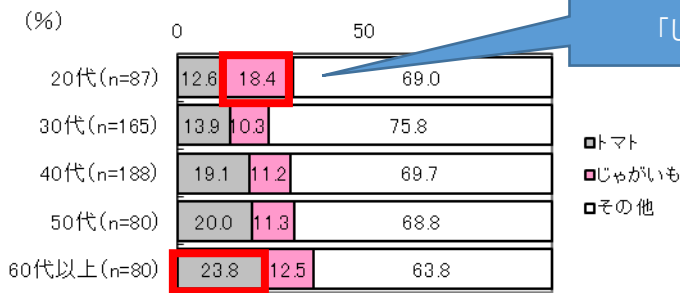


好きな野菜(上位2)－男女別－



男性では「トマト」と「じゃがいも」が同率首位

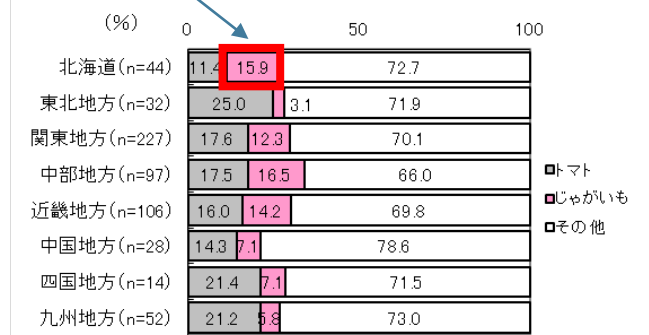
好きな野菜(上位2)―年代別―



若年層から支持を得る
「じゃがいも」

北海道では「トマト」より人
気が高い「じゃがいも」

好きな野菜(上位2)―エリア別―

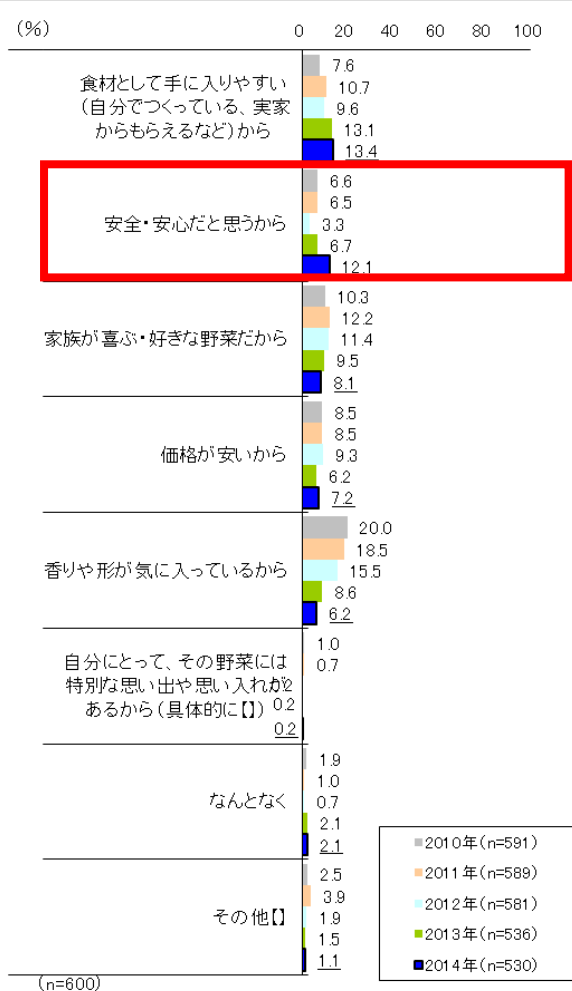
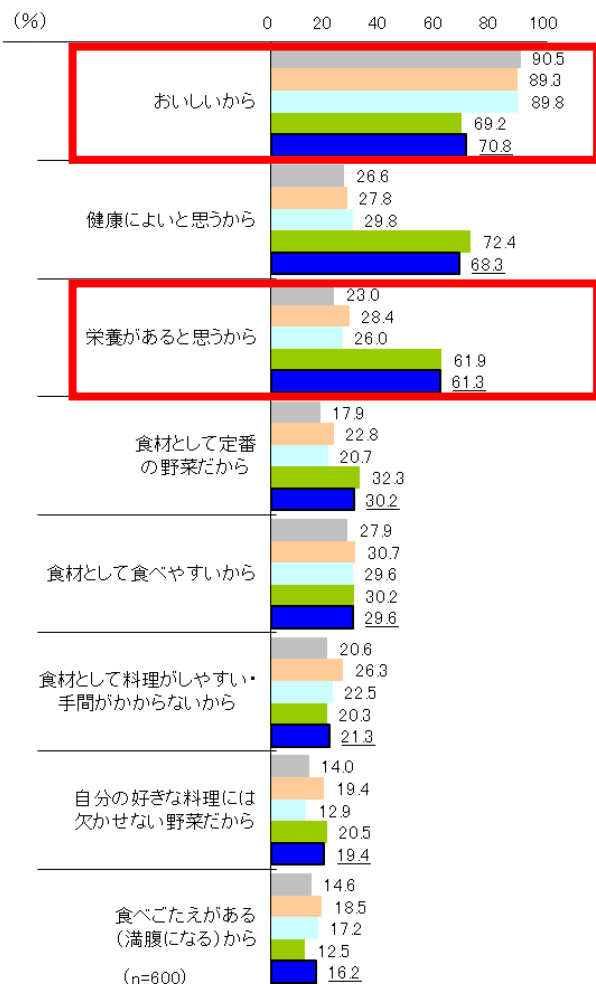


60代以上から支持を得
る「トマト」

Q. あなたが野菜を好きな理由は何ですか？あてはまるものすべてに回答してください。

野菜が好きな理由を聞いた結果、トップは5年連続で「おいしいから」だった。ただ、比率は7割をこらうじてキープした程度にとどまった。これに次ぐのは「健康によいと思うから」、「栄養があると思うから」、「食材として定番の野菜だから」の順。前年と比べて比率変動が目につくのは「安全・安心だと思うから」で、6.7%から12.1%と、ほぼ倍増した。食品偽装問題など食の安全に対する意識の高まりが、その背景にあるとみるべきだろう。

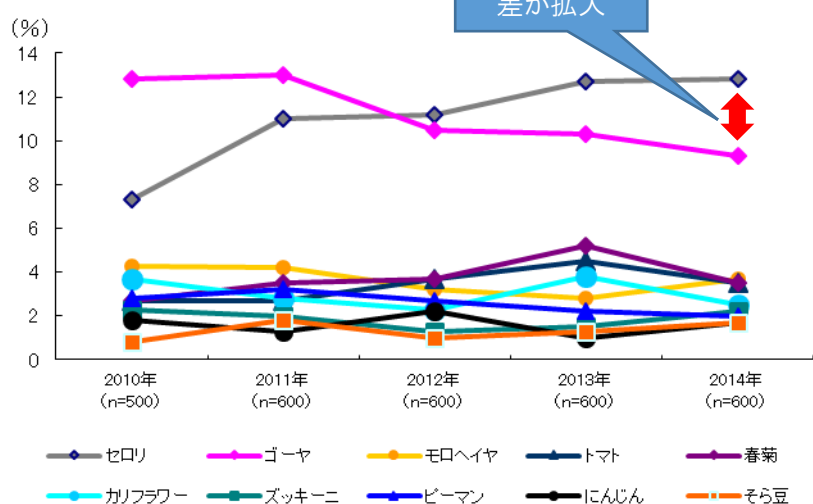
好きな野菜の理由



Q. あなたが最も嫌いな野菜は何ですか。あてはまるもの一つに回答してください。

嫌いな野菜のトップは前年調査と同様に「セロリ」で、12.8%と唯一 2 ケタを超えた。これに次ぐのは「ゴーヤ」で、9.3%と過去 5 年でははじめて 1 ケタ台となった。この 2 つ以外は、比率は 5%以下で混戦模様。これに続くのは「モロヘイヤ」(3.7%)、「トマト」と「春菊」は同率(3.5%)だった。男女別に分けると、いずれも「セロリ」の比率が高く、また東北地方で群を抜いて比率が高い傾向があった。「ゴーヤ」は四国・九州地方で比率が低くなっている。日本列島南側のエリアでは「ゴーヤ」に対して、抵抗感を示す人は少ないようだ。

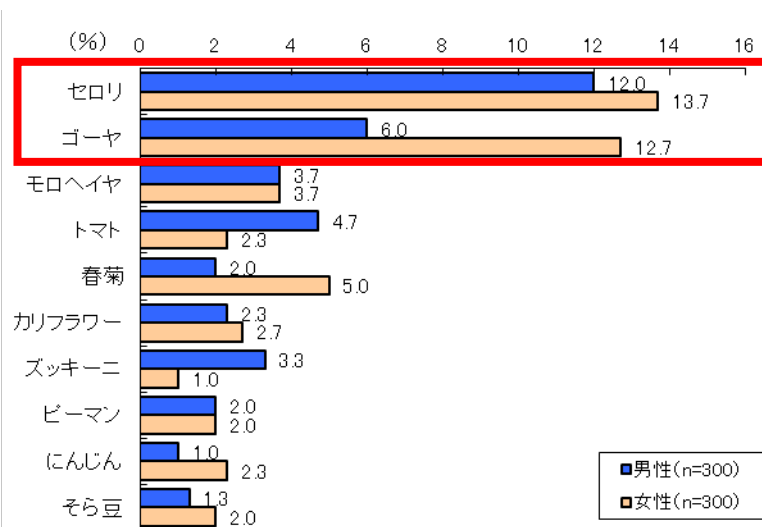
嫌いな野菜(上位 10)



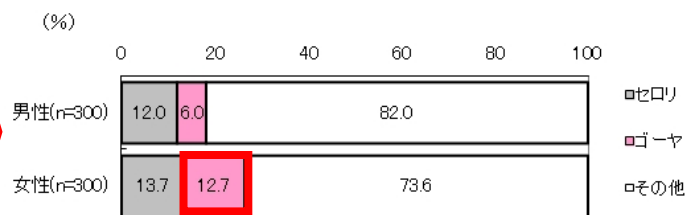
		2010年 (n=500)	2011年 (n=600)	2012年 (n=600)	2013年 (n=600)	2014年 (n=600)
1位	セロリ	7.3	11.0	11.2	12.7	12.8
2位	ゴーヤ	12.8	13.0	10.5	10.3	9.3
3位	モロヘイヤ	4.3	4.2	3.2	2.8	3.7
4位	トマト	2.7	2.7	3.7	4.5	3.5
4位	春菊	2.7	3.5	3.7	5.2	3.5
6位	カリフラワー	3.7	2.8	2.3	3.8	2.5
7位	ズッキーニ	2.3	2.0	1.3	1.5	2.2
8位	ピーマン	2.8	3.2	2.7	2.2	2.0
9位	にんじん	1.8	1.3	2.2	1.0	1.7
9位	そら豆	0.8	1.8	1.0	1.3	1.7
嫌いな野菜は特にない		36.8	31.5	35.5	32.0	35.2

※順位は 2014 年度のものとなります。

嫌いな野菜(上位 10)－男女別－



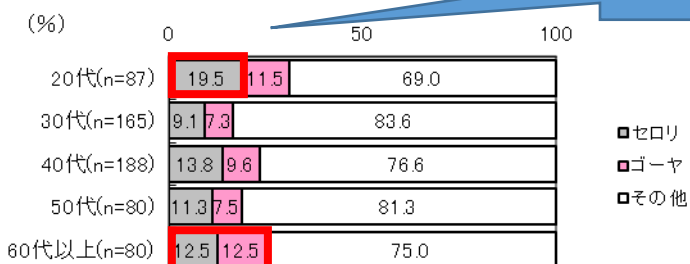
嫌いな野菜(上位 2)－男女別－



女性の「ゴーヤ」嫌いが顕著に

東北地方では「セロリ」嫌いが 2 割超え

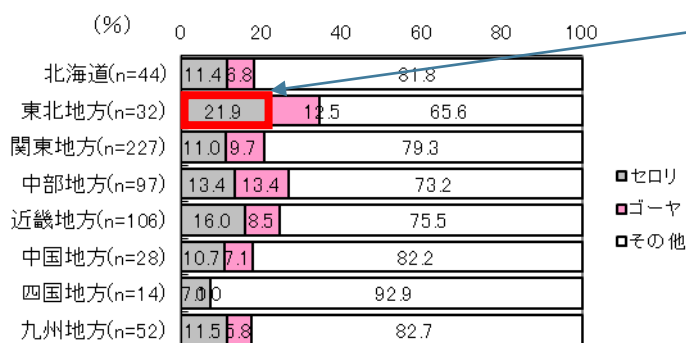
嫌いな野菜(上位 2)－年代別－



高齢者では「セロリ」と「ゴーヤ」が同率首位に

若年層の「セロリ」嫌いが際立つ

嫌いな野菜(上位 2)－エリア別－

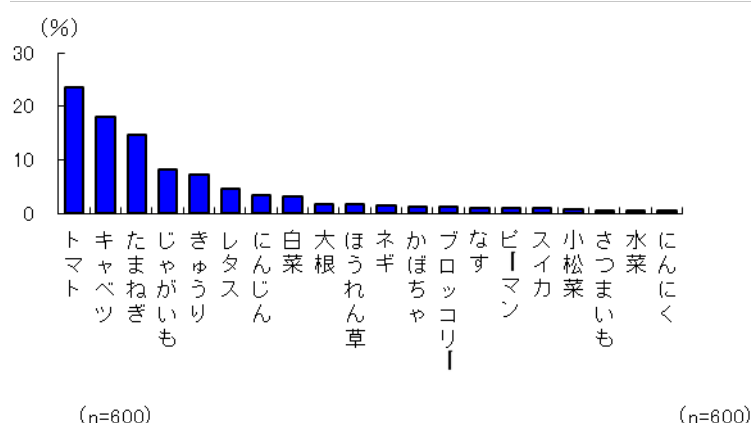


Q. 2014 年(1 月～今まで)、一番多く食べた野菜は何ですか？あてはまるもの一つに回答してください。

今年最も食べた野菜は「トマト」がトップで 2 割を超えている。これに次ぐのは「キャベツ」、「タマネギ」、「じゃがいも」、「キュウリ」、「レタス」、「ニンジン」の順。男女別では「タマネギ」を食べたという女性が男性に比べて高かった。年代別では「キャベツ」が 20 代でトップとなった。エリア別では、東北地方で「タマネギ」がトップとなった。また、中国・四国・九州地方の西日本では「キャベツ」を最も食べたと回答した。

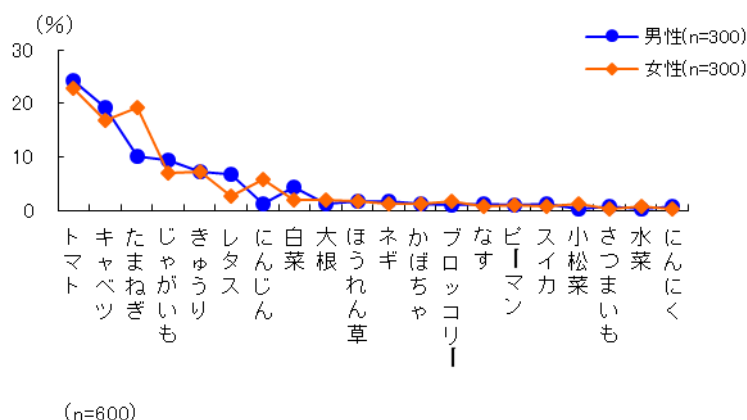
今年最も食べた野菜と最も好きな野菜を比較すると、「キャベツ」は最も食べたと回答した人が多かった割には、好きな野菜では上位に入らなかった。

今年最も食べた野菜(上位 20)



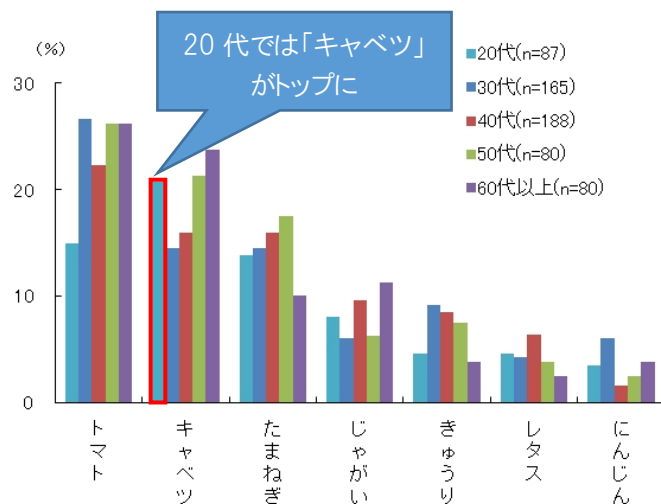
全体(n=600)		
1位	トマト	23.5
2位	キャベツ	18.0
3位	たまねぎ	14.7
4位	じゃがいも	8.2
5位	きゅうり	7.3
6位	レタス	4.7
7位	にんじん	3.5
8位	白菜	3.2
9位	大根	1.7
10位	ほうれん草	1.7
11位	ネギ	1.5
12位	かぼちゃ	1.3
13位	ブロッコリー	1.3
14位	なす	1.0
15位	ピーマン	1.0
16位	スイカ	1.0
17位	小松菜	0.8
18位	さつまいも	0.5
19位	水菜	0.5
20位	にんにく	0.5

今年最も食べた野菜(上位 20)ー男女別ー



	男性(n=300)	女性(n=300)
トマト	24.3	22.7
キャベツ	19.3	16.7
たまねぎ	10.0	19.3
じゃがいも	9.3	7.0
きゅうり	7.3	7.3
レタス	6.7	2.7
にんじん	1.3	5.7
白菜	4.3	2.0
大根	1.3	2.0
ほうれん草	1.7	1.7
ネギ	1.7	1.3
かぼちゃ	1.3	1.3
ブロッコリー	1.0	1.7
なす	1.3	0.7
ピーマン	1.0	1.0
スイカ	1.3	0.7
小松菜	0.3	1.3
さつまいも	0.7	0.3
水菜	0.3	0.7
にんにく	0.7	0.3

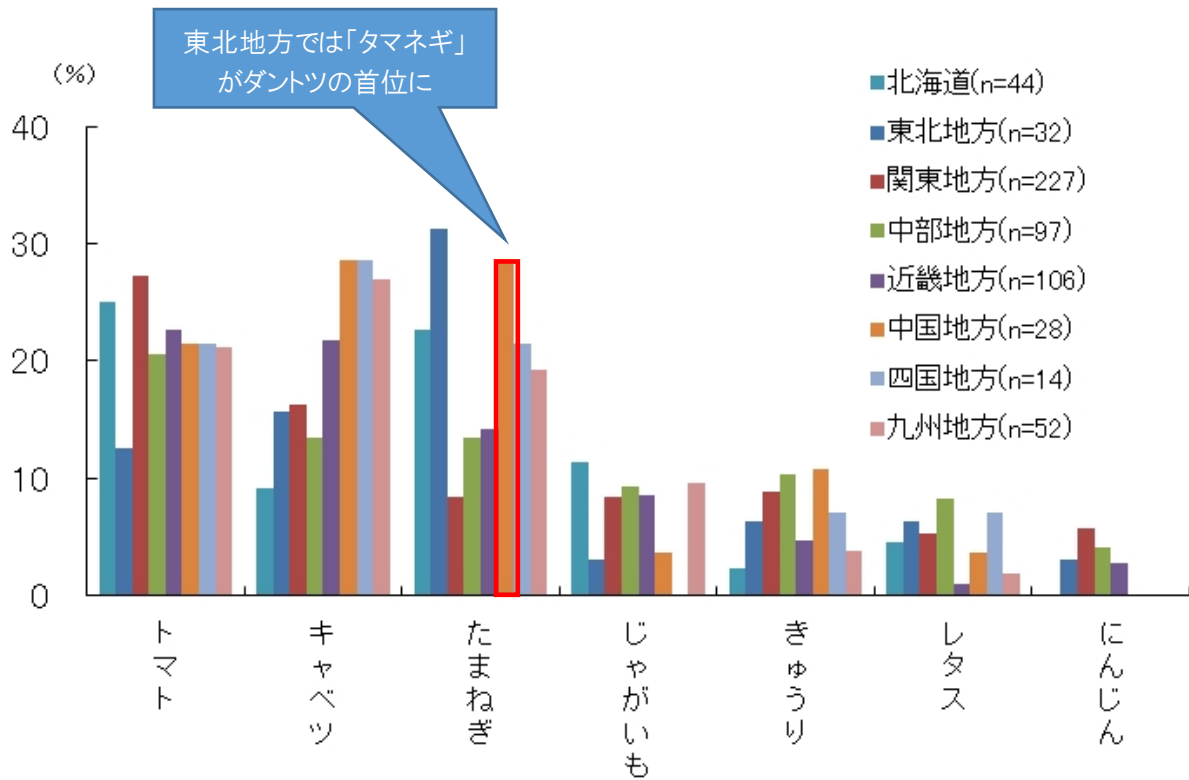
今年最も食べた野菜(上位 7)ー年代別ー



	20代 (n=87)	30代 (n=165)	40代 (n=188)	50代 (n=80)	60代以上 (n=80)
トマト	14.9	26.7	22.3	26.3	26.3
キャベツ	20.7	14.5	16.0	21.3	23.8
たまねぎ	13.8	14.5	16.0	17.5	10.0
じゃがいも	8.0	6.1	9.6	6.3	11.3
きゅうり	4.6	9.1	8.5	7.5	3.8
レタス	4.6	4.2	6.4	3.8	2.5
にんじん	3.4	6.1	1.6	2.5	3.8
白菜	4.6	1.8	4.3	2.5	2.5
大根	1.1	1.2	2.1	3.8	0.0
ほうれん草	0.0	2.4	1.1	1.3	3.8
ネギ	3.4	1.8	0.5	1.3	1.3
かぼちゃ	0.0	3.0	1.1	0.0	1.3
ブロッコリー	1.1	1.8	0.5	2.5	1.3
なす	2.3	0.6	1.6	0.0	0.0
ピーマン	2.3	1.2	0.5	0.0	1.3
スイカ	0.0	1.2	1.6	1.3	0.0
小松菜	1.1	1.2	1.1	0.0	0.0
さつまいも	1.1	0.6	0.0	1.3	0.0
水菜	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0
にんにく	0.0	0.0	0.5	0.0	2.5

※8 位以降は右記の表をご覧ください。
(n=600)

今年最も食べた野菜(上位 7)ーエリア別ー

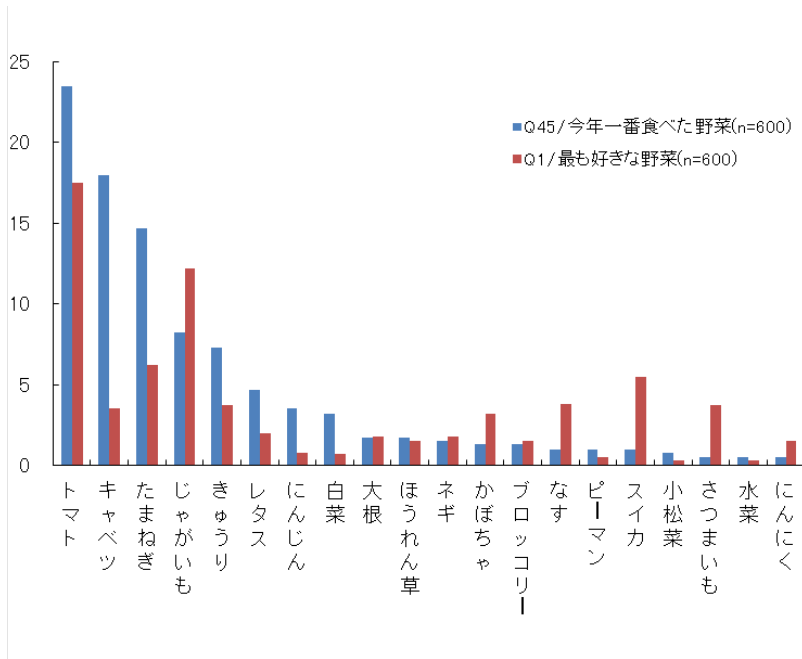


(n=600)

※8 位以降は下記の表をご覧ください。

	北海道 (n=44)	東北地方 (n=32)	関東地方 (n=227)	中部地方 (n=97)	近畿地方 (n=106)	中国地方 (n=28)	四国地方 (n=14)	九州地方 (n=52)
トマト	25.0	12.5	27.3	20.6	22.6	21.4	21.4	21.2
キャベツ	9.1	15.6	16.3	13.4	21.7	28.6	28.6	26.9
たまねぎ	22.7	31.3	8.4	13.4	14.2	28.6	21.4	19.2
じゃがいも	11.4	3.1	8.4	9.3	8.5	3.6	0.0	9.6
きゅうり	2.3	6.3	8.8	10.3	4.7	10.7	7.1	3.8
レタス	4.5	6.3	5.3	8.2	0.9	3.6	7.1	1.9
にんじん	0.0	3.1	5.7	4.1	2.8	0.0	0.0	0.0
白菜	4.5	9.4	2.6	1.0	5.7	0.0	7.1	0.0
大根	4.5	3.1	0.4	2.1	3.8	0.0	0.0	0.0
ほうれん草	6.8	3.1	0.4	2.1	1.9	0.0	0.0	1.9
ネギ	2.3	0.0	2.2	1.0	1.9	0.0	0.0	0.0
かぼちゃ	0.0	0.0	1.3	1.0	0.9	3.6	7.1	1.9
ブロッコリー	2.3	0.0	1.8	1.0	1.9	0.0	0.0	0.0
なす	0.0	3.1	0.9	1.0	1.9	0.0	0.0	0.0
ピーマン	2.3	0.0	0.4	1.0	0.0	0.0	0.0	5.8
スイカ	0.0	0.0	1.3	1.0	0.9	0.0	0.0	1.9
小松菜	0.0	0.0	0.4	1.0	1.9	0.0	0.0	1.9
さつまいも	0.0	0.0	0.9	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
水菜	0.0	0.0	0.9	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0
にんにく	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

今年最も食べた野菜と最も好きな野菜(上位 20)

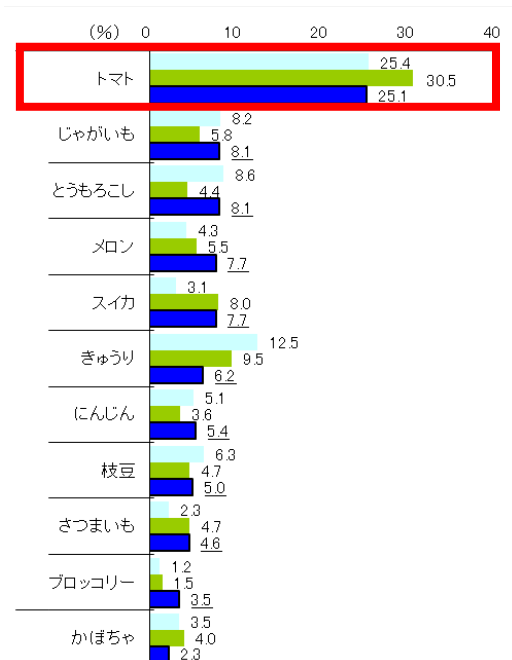


	Q45/今年一番食べた野菜(n=600)	Q1/最も好きな野菜(n=600)
トマト	23.5	17.5
キャベツ	18.0	3.5
たまねぎ	14.7	6.2
じゃがいも	8.2	12.2
きゅうり	7.3	3.7
レタス	4.7	2.0
にんじん	3.5	0.8
白菜	3.2	0.7
大根	1.7	1.8
ほうれん草	1.7	1.5
ネギ	1.5	1.8
かぼちゃ	1.3	3.2
ブロッコリー	1.3	1.5
なす	1.0	3.8
ピーマン	1.0	0.5
スイカ	1.0	5.5
小松菜	0.8	0.3
さつまいも	0.5	3.7
水菜	0.5	0.3
にんにく	0.5	1.5

Q. 子どもが最も好きな野菜は何ですか？あてはまるもの一つに回答してください。

子どもが好きな野菜のトップは「トマト」で、3年連続となった。今回の調査では25.1%で、ほぼ4人に1人の割合。これに続くのは「じゃがいも」、「とうもろこし」、「メロン」、「スイカ」が上位を占めている。逆に、香りの強い「にんにく」や「ネギ」、「ピーマン」などは比率が低い。

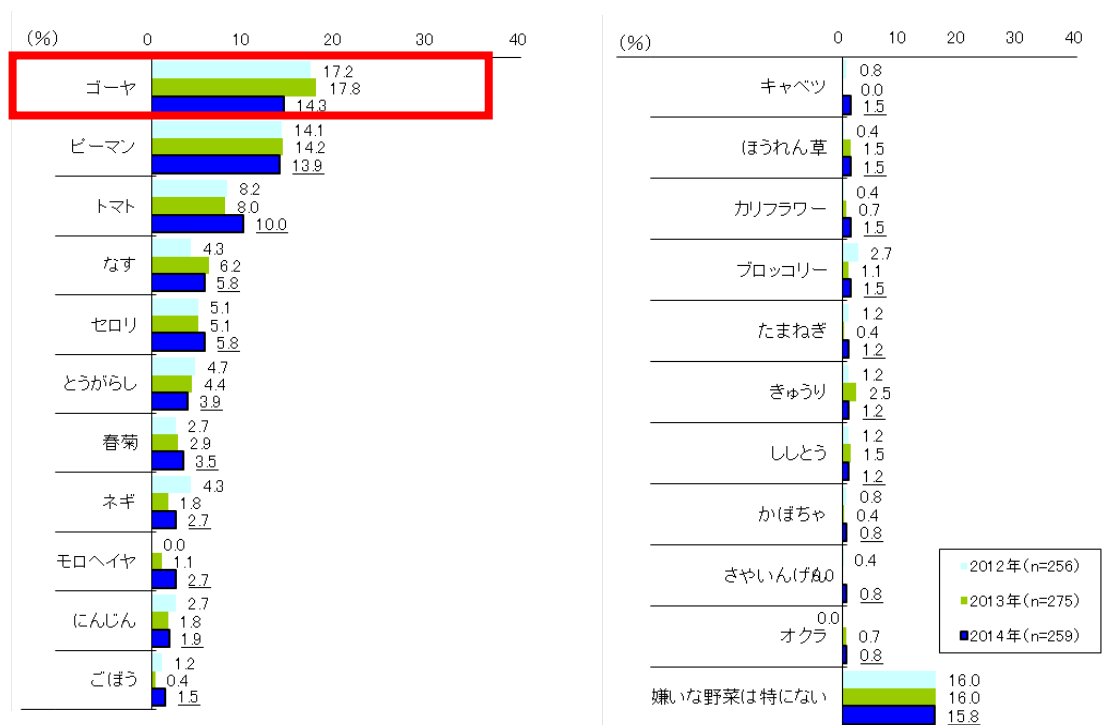
子どもが好きな野菜



Q. 子どもが最も嫌いな野菜は何ですか？あてはまるもの一つに回答してください。

子どもが嫌いな野菜では「ゴーヤ」がトップで、3年連続となった。以下は「ピーマン」、「トマト」、「ナス」、「セロリ」、「とうがらし」、「春菊」の順だった。「トマト」については、好きな野菜のトップでありながら、嫌いな野菜でも上位に入っていることから、子どもの判断が大きく割れる傾向にある。

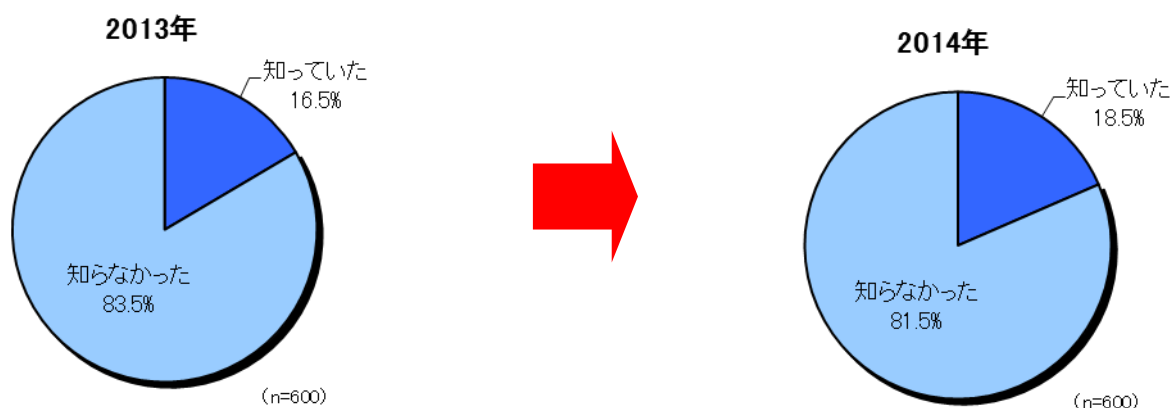
子どもが嫌いな野菜



Q. あなたは通常の野菜より栄養価の高い「機能性野菜」をご存知でしたか？

機能性野菜の認知については、「知っていた」が18.5%と、約2割にとどまった。しかし、前年の16.5%と比べると認知度は2ポイントアップとなっている。

機能性野菜の認知



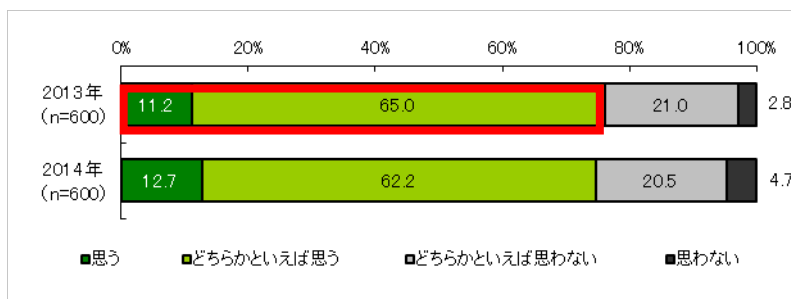
Q. あなたは「機能性野菜」に対してどのようなイメージを持っていますか？

機能性野菜については、栄養面などの観点から概ね好意的なイメージを持っていることがわかった。その一方で、価格面などに対し懸念を示す回答も見られた。

機能性野菜に対するイメージ	性別	年齢	地域	職業
通常の野菜に比べて高価	男性	23	愛知県	会社員(技術系)
野菜離れしている人には良いと思う	女性	27	山梨県	専業主婦(主夫)
量を摂らなくても手軽に栄養がたくさん摂取できる	女性	27	新潟県	専業主婦(主夫)
安く市場に出回ってくれば買いたいし育ててみたい	男性	32	静岡県	会社員(その他)
少しの量で栄養が摂れるから、サプリメントに頼らなくてよい	女性	36	長崎県	専業主婦(主夫)
価格が高そう	男性	42	神奈川県	自由業
健康に適した食材	男性	41	東京都	会社員(事務系)
見た目はふつうの野菜と変わらないのに栄養が優れているなどふつうの野菜と比較すると優れている野菜	女性	42	石川県	専業主婦(主夫)
食べ物と言うよりもサプリメントみたいなイメージ	女性	45	新潟県	会社員(事務系)
効果が凄くて買いたいが、値段が高そう	男性	53	愛知県	会社員(技術系)
体にいい ピンポイントで効果的	男性	58	石川県	会社員(技術系)
ある目的に対して効果の期待できる栄養価の高い野菜	女性	51	東京都	会社員(事務系)
同じ量食べて栄養が何倍もとれるため効率が良い	女性	50	秋田県	会社員(事務系)
値段が高いが栄養価が優れている	男性	61	北海道	自営業
最初は元々含まれていない成分を増やすわけですからどんなことをしているのかと懷疑的になっていました。が高度な技術で初めて商品化されたことを知って凄いな〜と思っています。	女性	66	北海道	専業主婦(主夫)
今後とも改良が進み益々機能性の向上につなげて頂きたい	女性	66	広島県	自営業

Q. あなたは通常の野菜より栄養価の高い「機能性野菜」をご自身の食生活に摂り入れたいと思いますか？

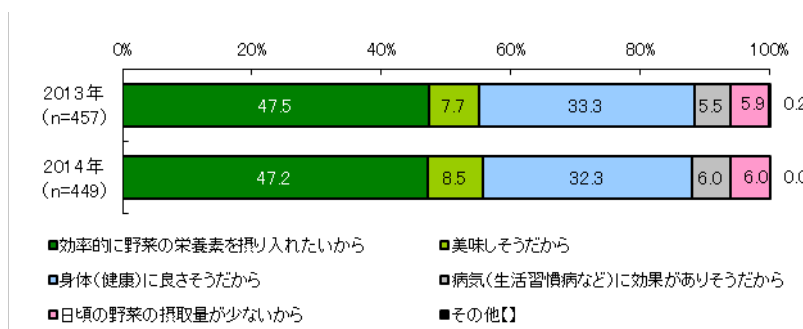
機能性野菜の摂取意向は7割を超える。今回の調査では、食生活に摂り入れたいと思うが12.7%、「どちらかといえば思う」が62.2%、「どちらかといえば思わない」が20.5%、「思わない」が4.7%と、ほぼ4人に3人が回答した。



Q. あなたは、どのような理由で「機能性野菜」を食生活に摂り入れたいと思いますか？最もあてはまる理由をお答えください。

機能性野菜を摂り入れる理由については、ほぼ前年並みで大きな変化はない。「効率的に野菜の栄養素を摂り入れたいから」がトップ。以下は、「身体(健康)に良さそうだから」、「美味しそうだから」の順だった。

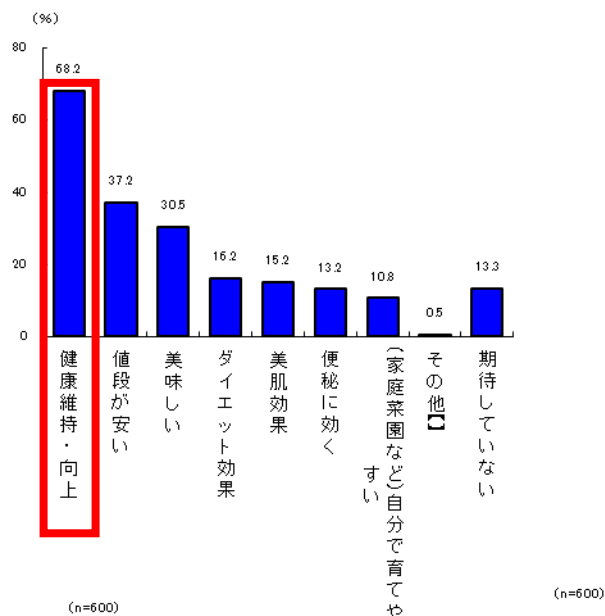
機能性野菜の摂取理由



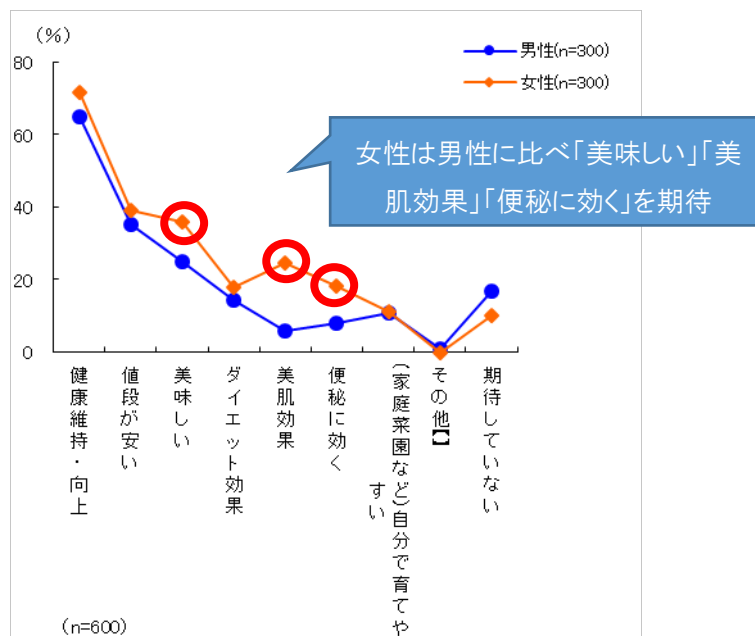
Q.「機能性野菜」に何を期待しますか？あてはまるものすべてに回答してください。

機能性野菜への期待では「健康維持・向上」が約 7 割を占める。以下は「値段が安い」、「美味しい」、「ダイエット効果」、「美肌効果」が続いている。男女別ではすべての項目で女性の比率が高かった。特に、「美味しい」、「美肌効果」、「便秘に効く」で男性を大きく上回った。年代別では、20 代の「美肌効果」が他の年代に比べて圧倒的に高かった。60 代では「(家庭菜園など)自分で育てやすい」が他の年代よりも高かった。

機能性野菜に期待すること

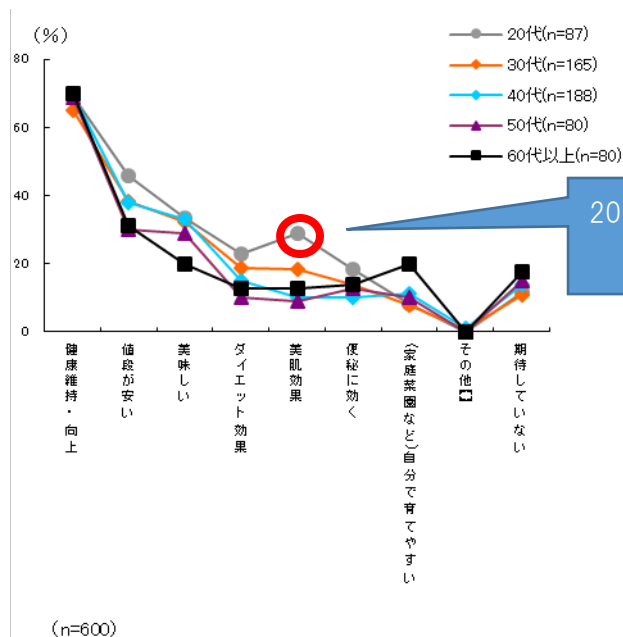


機能性野菜に期待すること—男女別—



	男性(n=300)	女性(n=300)
健康維持・向上	64.7	71.7
値段が安い	35.3	39.0
美味しい	25.0	36.0
ダイエット効果	14.3	18.0
美肌効果	5.7	24.7
便秘に効く	8.0	18.3
(家庭菜園など)自分で育てやすい	10.7	11.0
その他【】	1.0	0.0
期待していない	16.7	10.0

機能性野菜に期待すること年代別ー



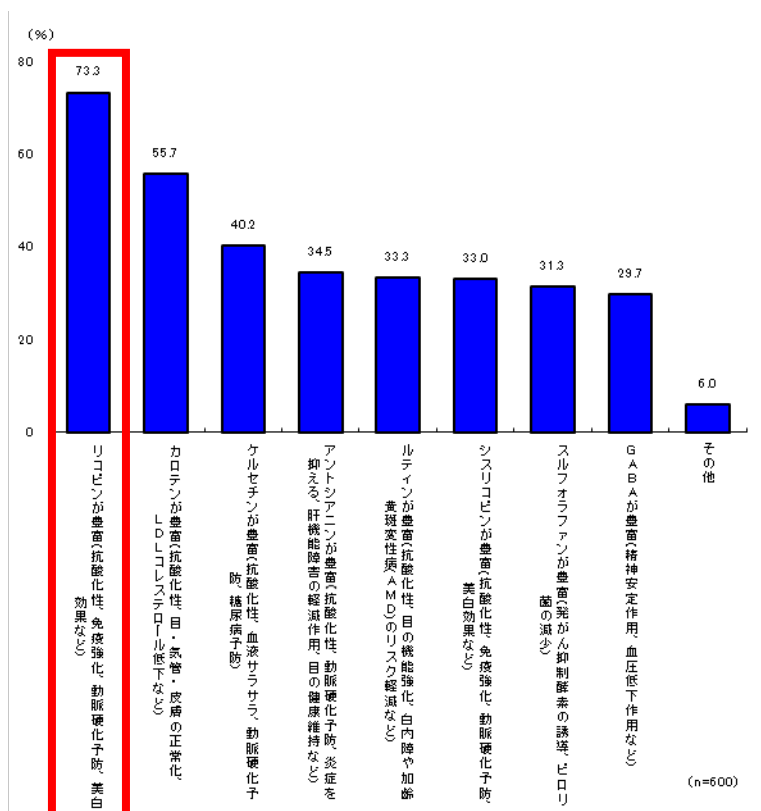
20代は他の年代に比べて
「美肌効果」に期待

	20代(n=87)	30代(n=165)	40代(n=188)	50代(n=80)	60代以上 (n=80)
健康維持・向上	69.0	64.8	69.7	68.8	70.0
値段が安い	46.0	38.2	37.8	30.0	31.3
美味しい	33.3	32.1	33.0	28.8	20.0
ダイエット効果	23.0	18.8	14.9	10.0	12.5
美肌効果	28.7	18.2	10.1	8.8	12.5
便秘に効く	18.4	13.9	10.1	12.5	13.8
(家庭菜園など)自分で育てやすい	8.0	7.9	11.2	10.0	20.0
その他【】	0.0	0.6	1.1	0.0	0.0
期待していない	11.5	10.9	13.8	15.0	17.5

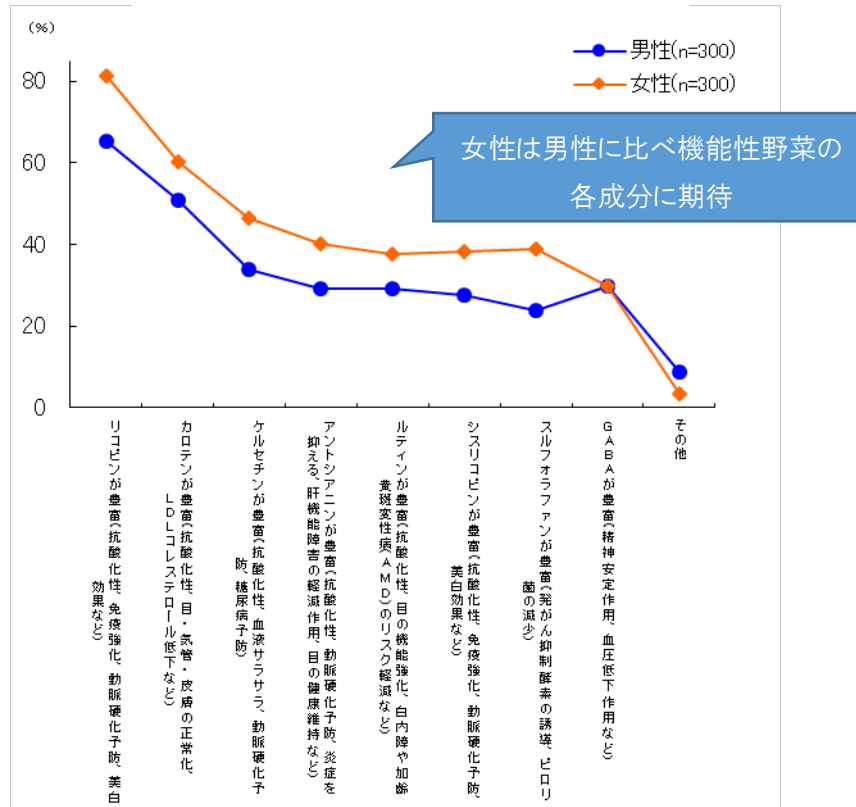
Q. 「機能性野菜」にどんな機能性成分を期待していますか？あてはまるものすべてに回答してください。

機能性野菜に期待する成分では「リコピンが豊富(抗酸化性、免疫強化、動脈硬化予防、美白効果など)」がトップで、7割を超えている。以下は「カロテンが豊富(抗酸化性、目・気管・皮膚の正常化、LDL コレステロール低下など)」、「ケルセチンが豊富(抗酸化性、血液サラサラ、動脈硬化予防、糖尿病予防)」の順だった。男女別に見ると、「リコピンが豊富」など、ほとんどの項目で女性の比率が高かった。女性の方が積極的に機能性成分を取り入れたい意向があることが明らかとなった。年代別では、20代で「リコピンが豊富」が81.6%と高い比率を示した。50代や60代以上では「ルテインが豊富(抗酸化性、目の機能強化、白内障や加齢黄斑変性病(AMD)のリスク軽減など)」が他の年代に比べて高かった。

機能性野菜に期待する成分

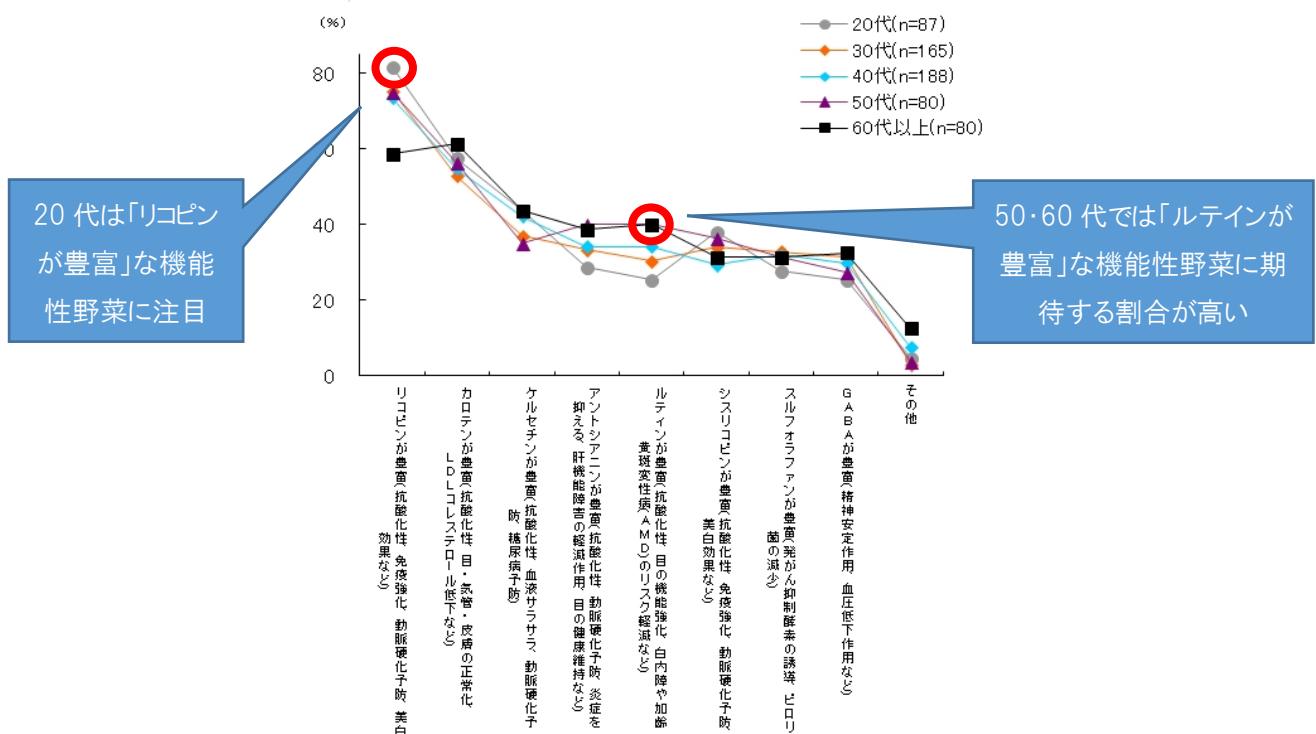


機能性野菜に期待する成分—男女別—



	男性(n=300)	女性(n=300)
リコピンが豊富 (抗酸化性、免疫強化、動脈硬化予防、美白効果など)	65.3	81.3
カロテンが豊富 (抗酸化性、目・気管・皮膚の正常化、LDLコレステロール低下など)	51.0	60.3
ケルセチンが豊富 (抗酸化性、血液サラサラ、動脈硬化予防、糖尿病予防)	34.0	46.3
アントシアニンが豊富 (抗酸化性、動脈硬化予防、炎症を抑える、肝機能障害の軽減作用、目の健康維持など)	29.0	40.0
ルテインが豊富 (抗酸化性、目の機能強化、白内障や加齢黄斑変性病(AMD)のリスク軽減など)	29.0	37.7
シスリコピンが豊富 (抗酸化性、免疫強化、動脈硬化予防、美白効果など)	27.7	38.3
スルフォラファンが豊富 (発がん抑制酵素の誘導、ピロリ菌の減少)	23.7	39.0
GABAが豊富 (精神安定作用、血圧低下作用など)	29.7	29.7
その他	8.7	3.3

機能性野菜に期待する成分—年代別—

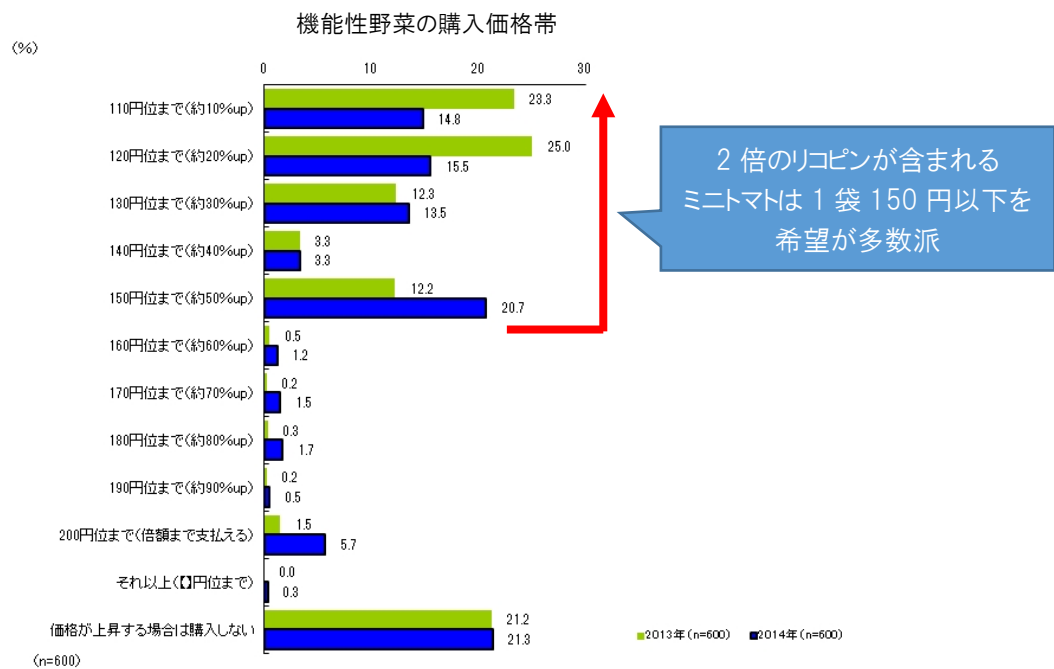


	20代(n=87)	30代(n=165)	40代(n=188)	50代(n=80)	60代以上(n=80)
リコピンが豊富(抗酸化性、免疫強化、動脈硬化予防、美白効果など)	81.6	75.2	73.4	75.0	58.8
カロテンが豊富(抗酸化性、目・気管・皮膚の正常化、LDLコレステロール低下など)	57.5	52.7	54.8	56.3	61.3
ケルセチンが豊富(抗酸化性、血液サラサラ、動脈硬化予防、糖尿病予防)	43.7	37.0	42.0	35.0	43.8
アントシアニンが豊富(抗酸化性、動脈硬化予防、炎症を抑える、肝機能障害の軽減作用、目の健康維持など)	28.7	33.3	34.0	40.0	38.8
ルテインが豊富(抗酸化性、目の機能強化、白内障や加齢黄斑変性病(AMD)のリスク軽減など)	25.3	30.3	34.0	40.0	40.0
シスリコピンが豊富(抗酸化性、免疫強化、動脈硬化予防、美白効果など)	37.9	33.9	29.3	36.3	31.3
スルフォラファンが豊富(発がん抑制酵素の誘導、ピロリ菌の減少)	27.6	32.7	31.9	31.3	31.3
GABAが豊富(精神安定作用、血圧低下作用など)	25.3	31.5	29.8	27.5	32.5
その他	4.6	3.0	7.4	3.8	12.5

Q. 従来のものより約 2 倍のリコピン(※)が含まれるミニトマトがあった場合、従来品種に比べどの程度の価格帯までであれば購入しようと思いますか。(例)従来品種のミニトマト 1 袋を 100 円と仮定します。

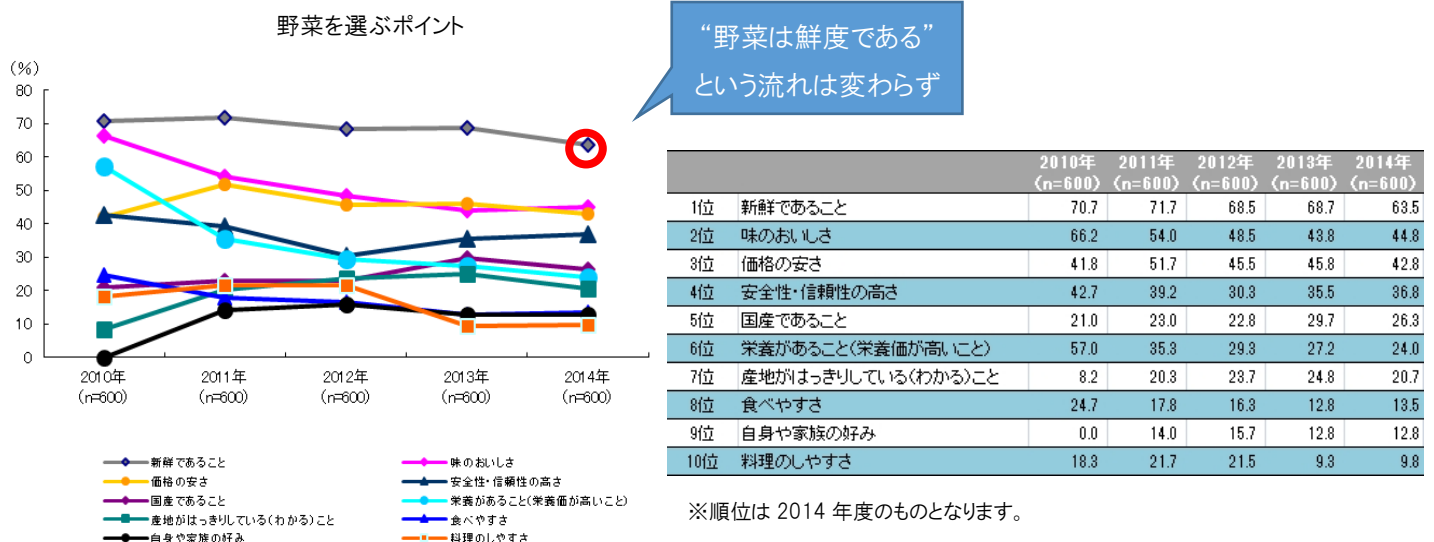
※リコピンは抗酸化性、免疫強化、動脈硬化、美白などの効能があるとされています。

機能性野菜の購入価格帯で最大のボリュームゾーンとなっているのは、前年調査では「120 円位まで」だったが、今回は「150 円位まで」と、大きく上回った。ただ、相対的な基調はほぼ同一で、110 円～150 円までと、150 円～200 円位までに分けると、前者に片寄る傾向は続いている。



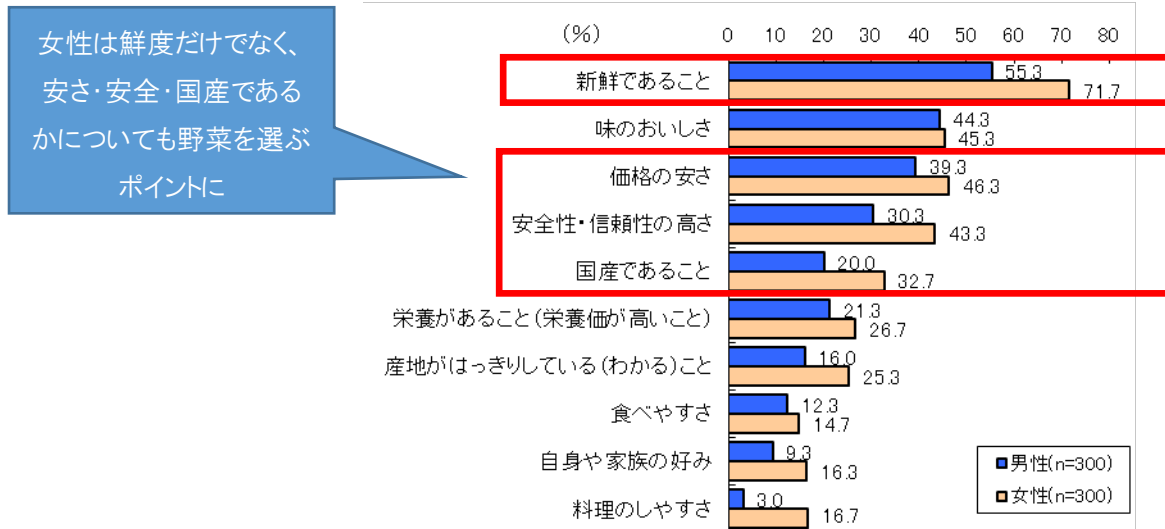
Q. あなたが野菜を食べる際や購入する際、実際にはどういうポイントを重視して選んでいますか？主なものを 5 つまで回答してください。

野菜の摂取や購入時に重視するポイントは「新鮮であること」が 5 年連続トップとなった。以下は「味のおいしさ」、「価格の安さ」、「安全性・信頼性の高さ」、「国産であること」が上位。男女別の相違は現れていないが、重視ポイントのトップ 10 のすべてで、男性よりも女性のほうが比率が高く、女性の野菜に対する関心の高さを示す結果となった。年代別で見ると、60 代以上では、「新鮮であること」が 86.3%と他の年代に比べて圧倒的に高かった。

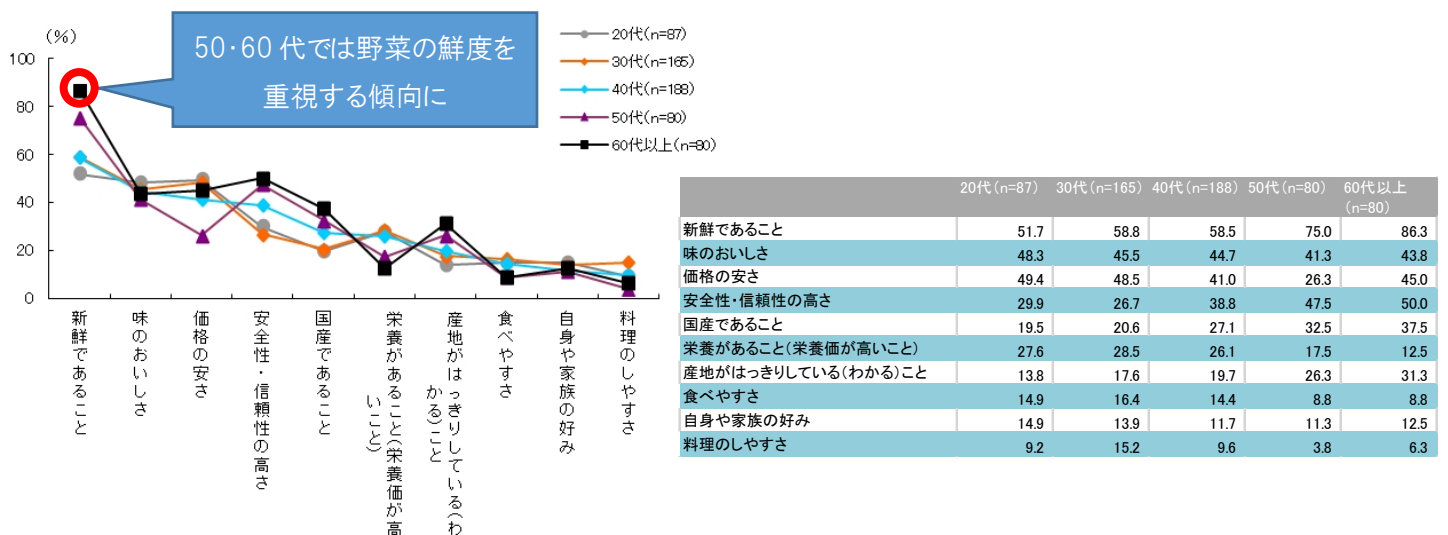


※順位は 2014 年度のものととなります。

野菜を選ぶポイントー男女別ー



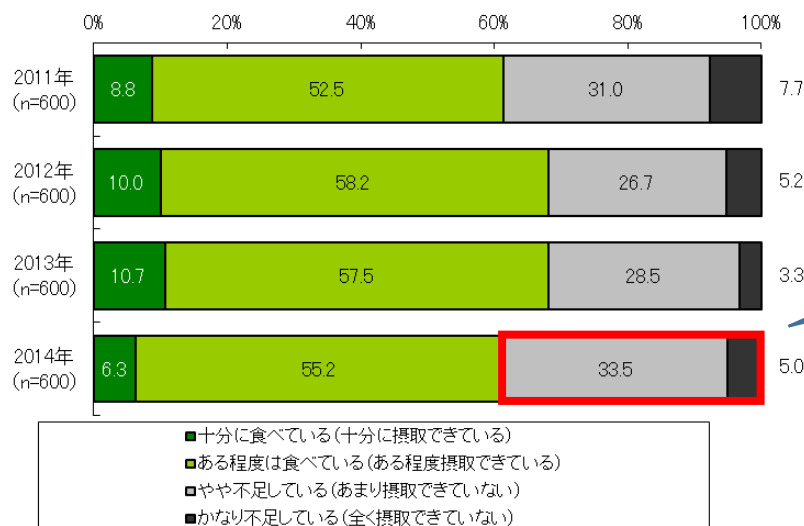
野菜を選ぶポイントー年代別ー



Q.あなたは普段の食生活の中で実際に野菜を十分に食べている(摂取できている)と思いますか？あてはまるもの一つに回答してください。

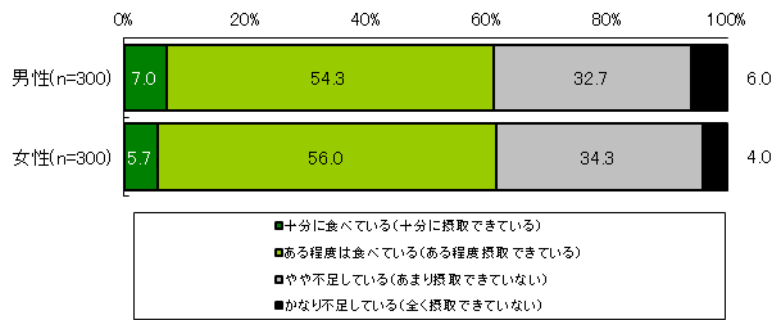
野菜の摂取が十分かどうかを自己判断してもらった結果、「やや不足している(あまり摂取できていない)」、「かなり不足している(まったく摂取できていない)」が昨年、一昨年より増加傾向にあり、今回の調査でもあわせて4割近くとなった。性別では大きな違いはなく、年代別では総じて若年層ほど「摂取できていない」比率が高まる傾向にある。

野菜の摂取量



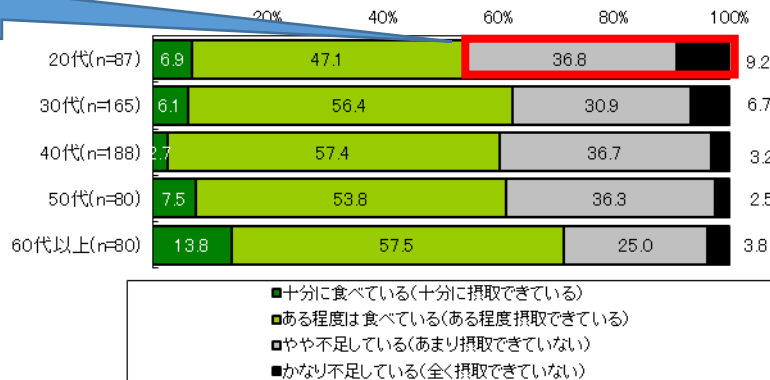
「摂取できていない」人は増加傾向

野菜の摂取量－男女別－



20代の野菜離れが
顕著に

野菜の摂取量－年代別－

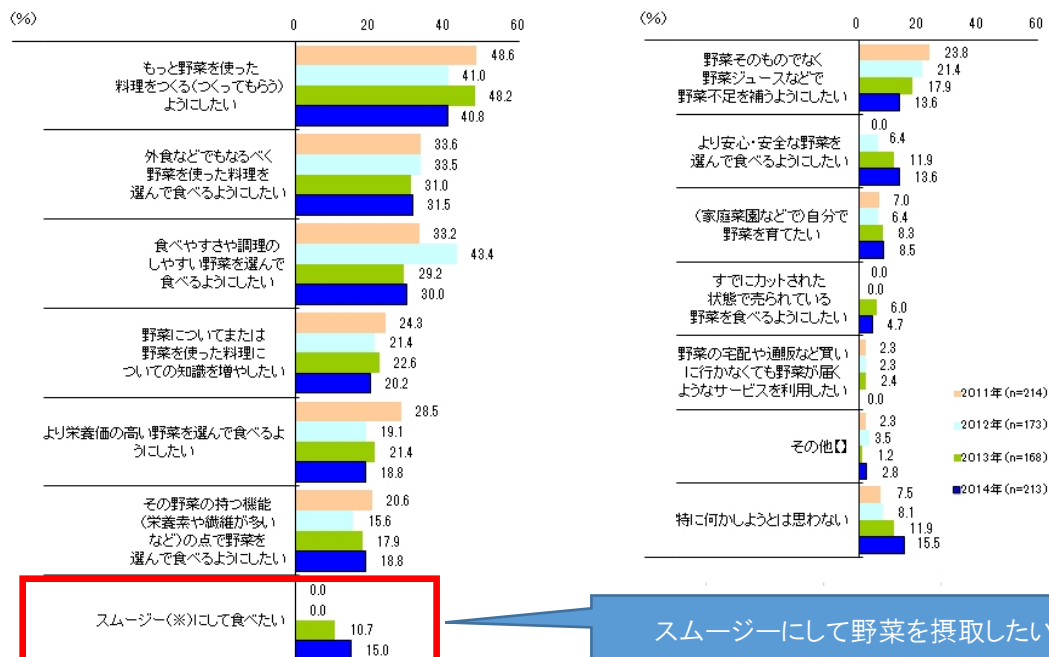


Q. あなたは今後、自身の食生活で野菜をもっと取るために、どのようなことをしたいと思いますか？あてはまるものをすべてお選びください。

今後の食生活で、野菜をもっと摂取するために行いたいことでは「もっと野菜を使った料理をつくる(つくってもらう)ようにしたい」がトップ。今回の調査でも4割を超えている。これに続くのは「外食などでもなるべく野菜を使った料理を選んで食べるようにしたい」、「食べやすさや調理のしやすい野菜を選んで食べるようにしたい」が上位を占めた。「スムージーにして食べたい」は15.0%と、比率は上昇した。話題性が高いことが数値に現れている。

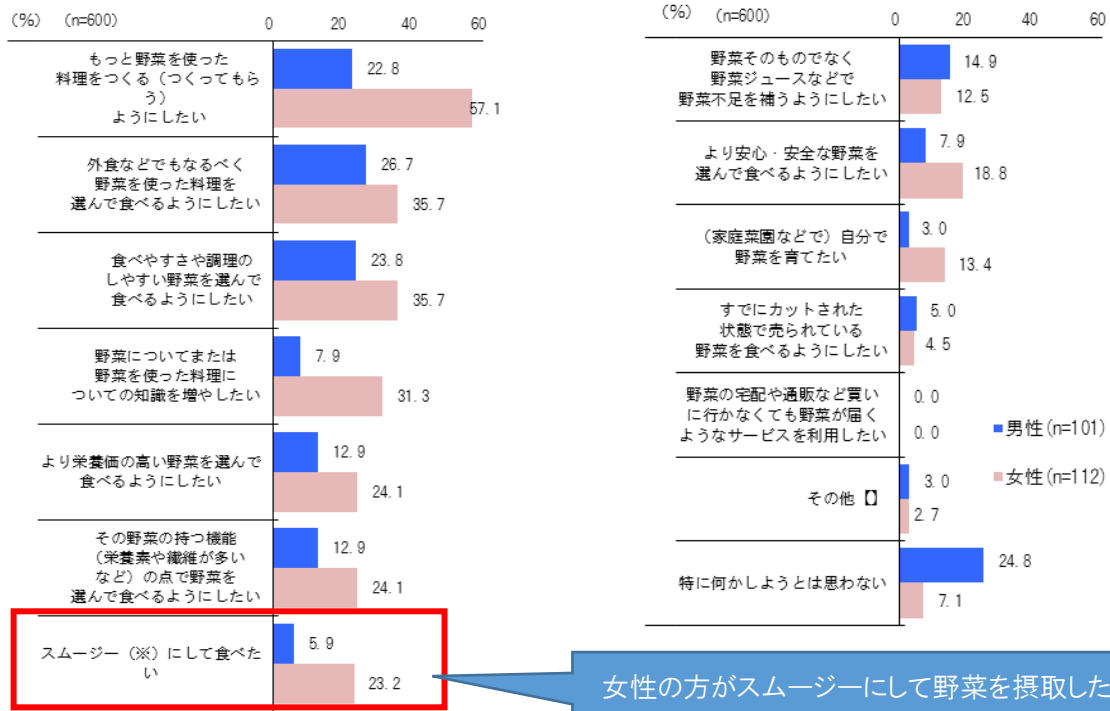
男女別では、「もっと野菜を使った料理をつくる(つくってもらう)ようにしたい」など女性は積極的に摂り入れようと考えているのに対し、男性は「特に何もしようとは思わない」が最も高い比率を示した。年代別では、20代で「スムージーにして食べたい」が高かった。60代以上では、「より栄養価の高い野菜を選んで食べるようにしたい」が他の年代に比べて高かった。

野菜を摂取するために行いたいこと

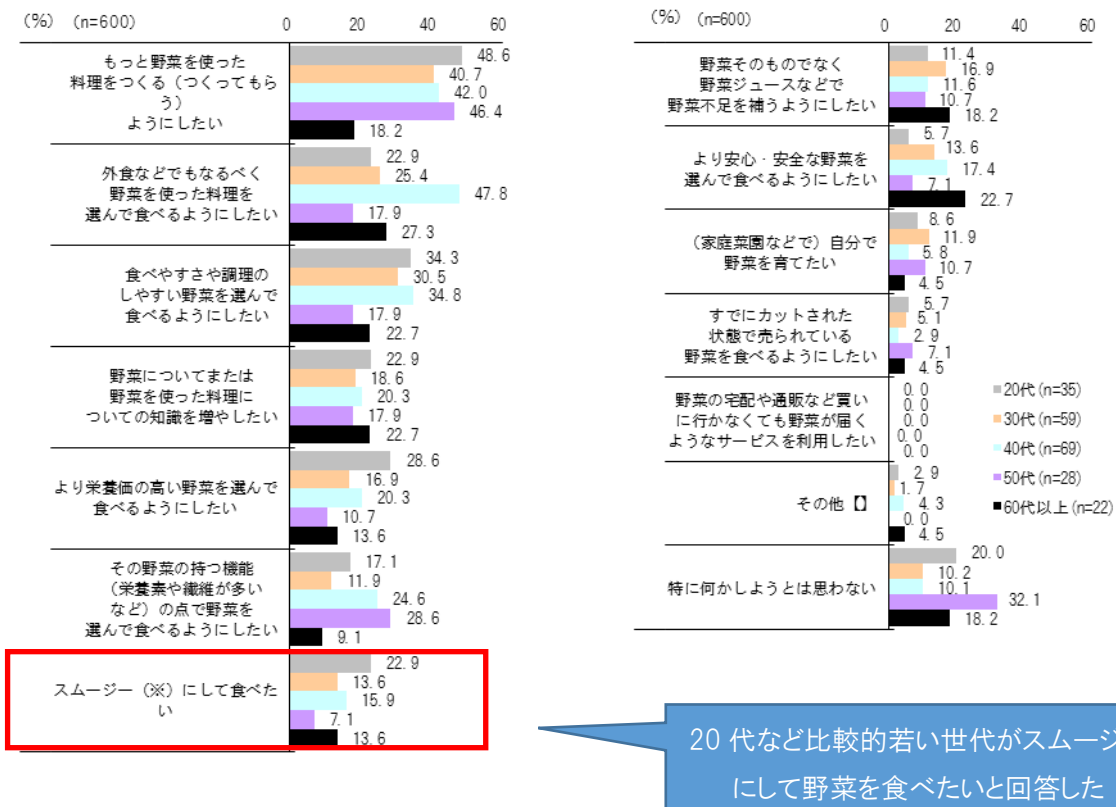


スムージーにして野菜を摂取したい人が増加

野菜を摂取するために行いたいこと―男女別―



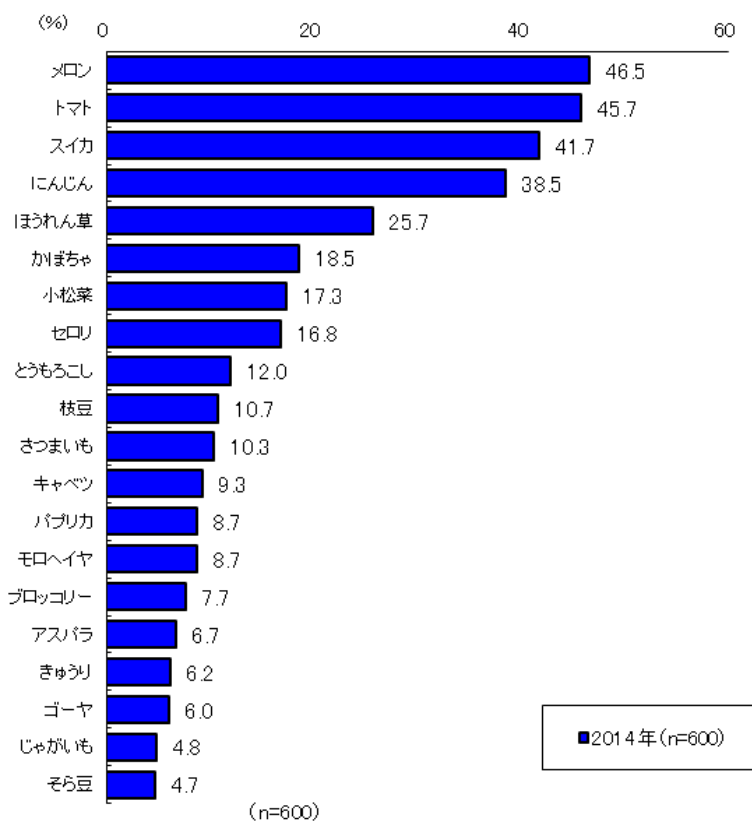
野菜を摂取するために行いたいこと―年代別―



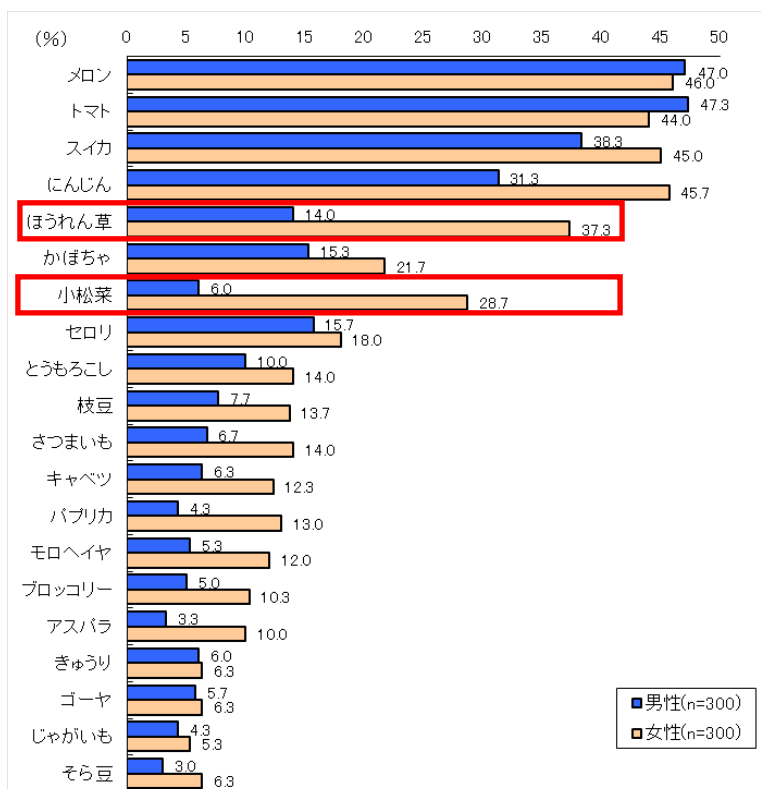
Q. スムージーにするなら、どんな野菜がいいですか。スムージーにしたい野菜すべてを回答してください。
(今までつくったことがない方も、想像してお答えください。)

スムージーで食べたい野菜のトップは「メロン」で、続いて「トマト」、「スイカ」、「ニンジン」、「ホウレンソウ」が上位を占めている。男女差が目立つのは「ホウレンソウ」や「小松菜」などで、男性の比率が低い半面、女性は高めとなっている。

スムージーで食べたい野菜トップ 20



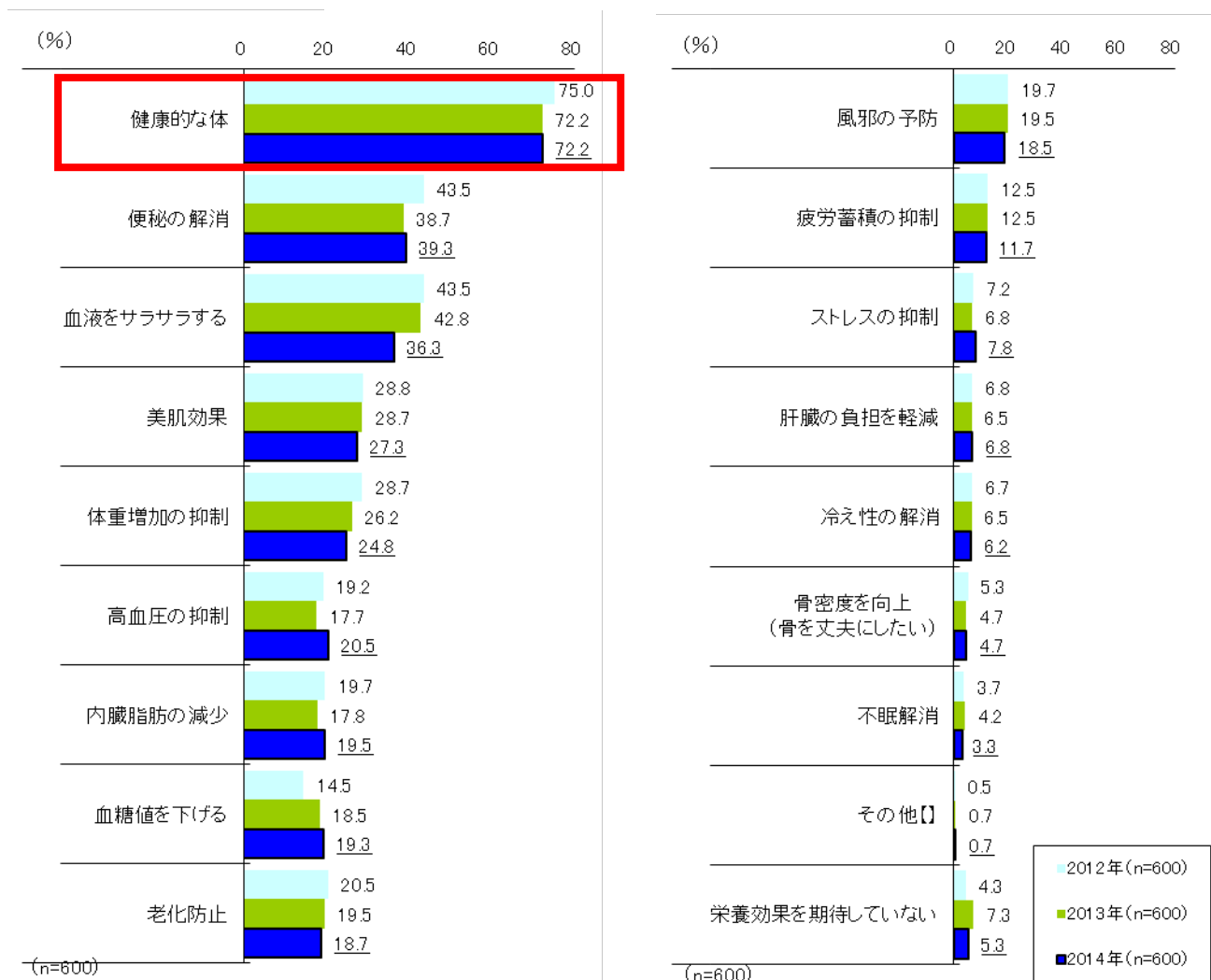
スムージーで食べたい野菜トップ 20－男女別－



Q.あなたは野菜を摂取することによりどのような栄養効果を期待していますか？あてはまるものすべてに回答してください。

野菜を摂取することで期待できる効果では、「健康的な体」が3年連続で7割を超えてトップだった。これに続くのは「便秘の解消」、「血液をサラサラにする」、「美肌効果」、「体重増加の抑制」の順だった。すべてが健康や美容に関する効果となっている。

野菜を摂取することで期待できる効果



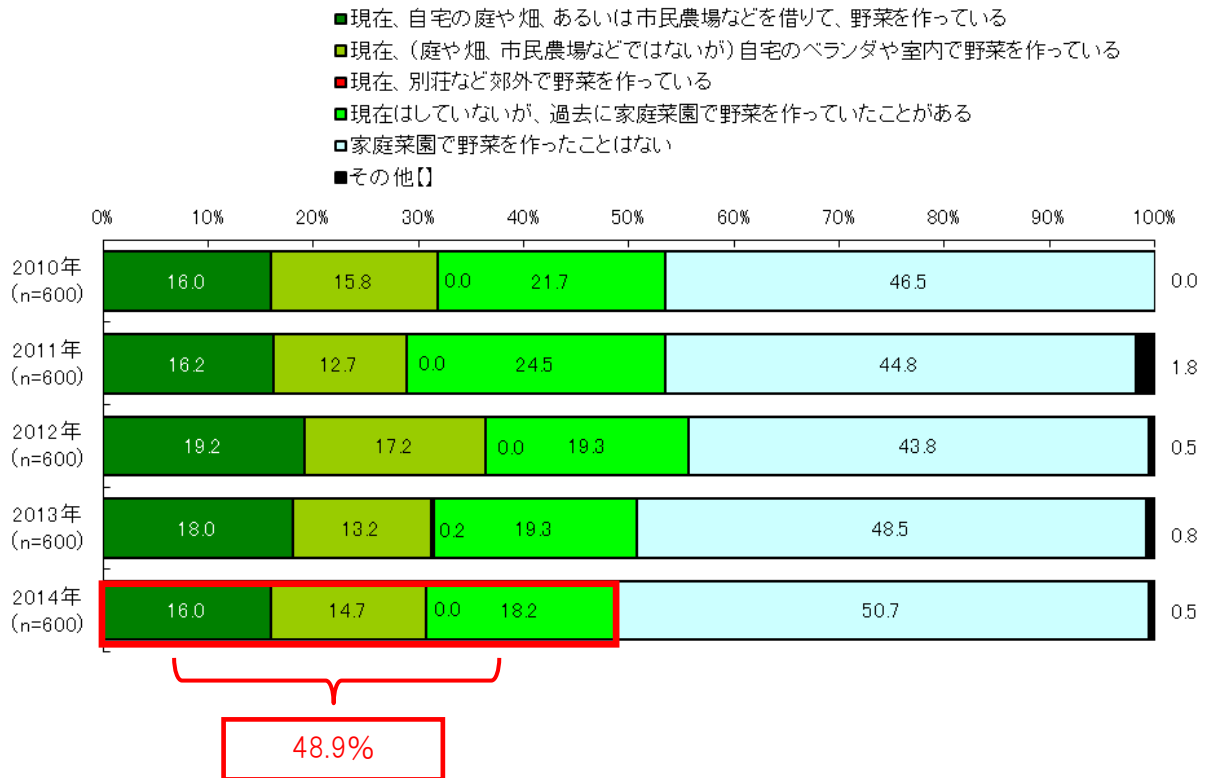
Q. あなたは家庭菜園(ベランダ菜園、または庭や畑あるいは市民農場を借りて等、程度は問わずご自身やご家族で野菜を育てることを、ここでは家庭菜園とする)で野菜を作ったことはありますか。あてはまるもの一つに回答してください。

『現在家庭菜園で野菜を作っている人、過去に経験した事がある人』は 48.9%と、約半数の人が「家庭菜園」経験者でした。そのうち、現在も家庭菜園をしている人は 30.7%という結果となった。

住まい別に見てみると、「所有の一戸建て」では「野菜を作っている」割合が最も高く27.0%だった。また、「賃貸の一戸建て」(17.9%)でも高く、一戸建てに住む人ほど、家庭菜園を行っている割合が高い傾向にあることがわかった。

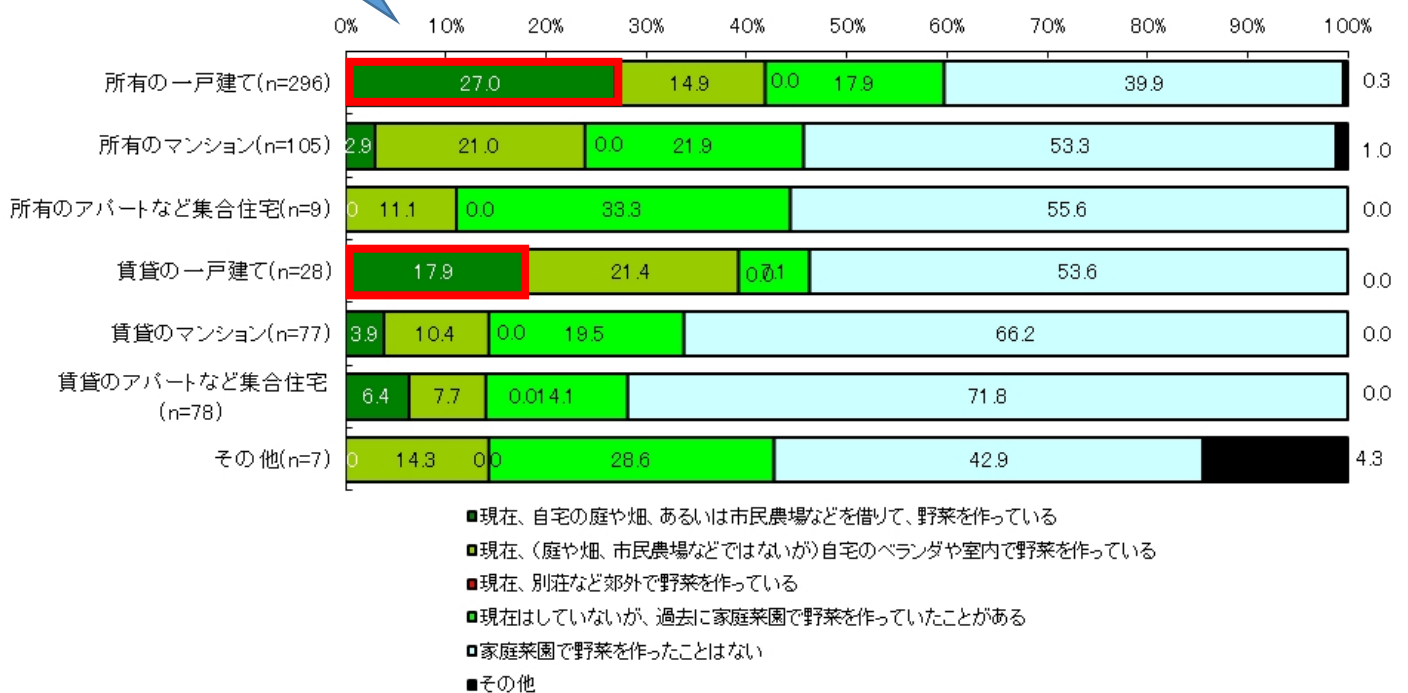
家庭菜園をしていない理由は、「時間的な余裕がなくなったから」(39.4%)がトップで約 4 割を占めた。とくに、女性で「時間的な余裕がなくなったから」の比率が 43.1%と高く、女性の社会進出や子育てなどで、家庭菜園を行う時間を確保できなくなってきたものと考えられる。

家庭菜園の経験



一戸建てに住んでいる
人ほど家庭菜園をして
いる割合が高い

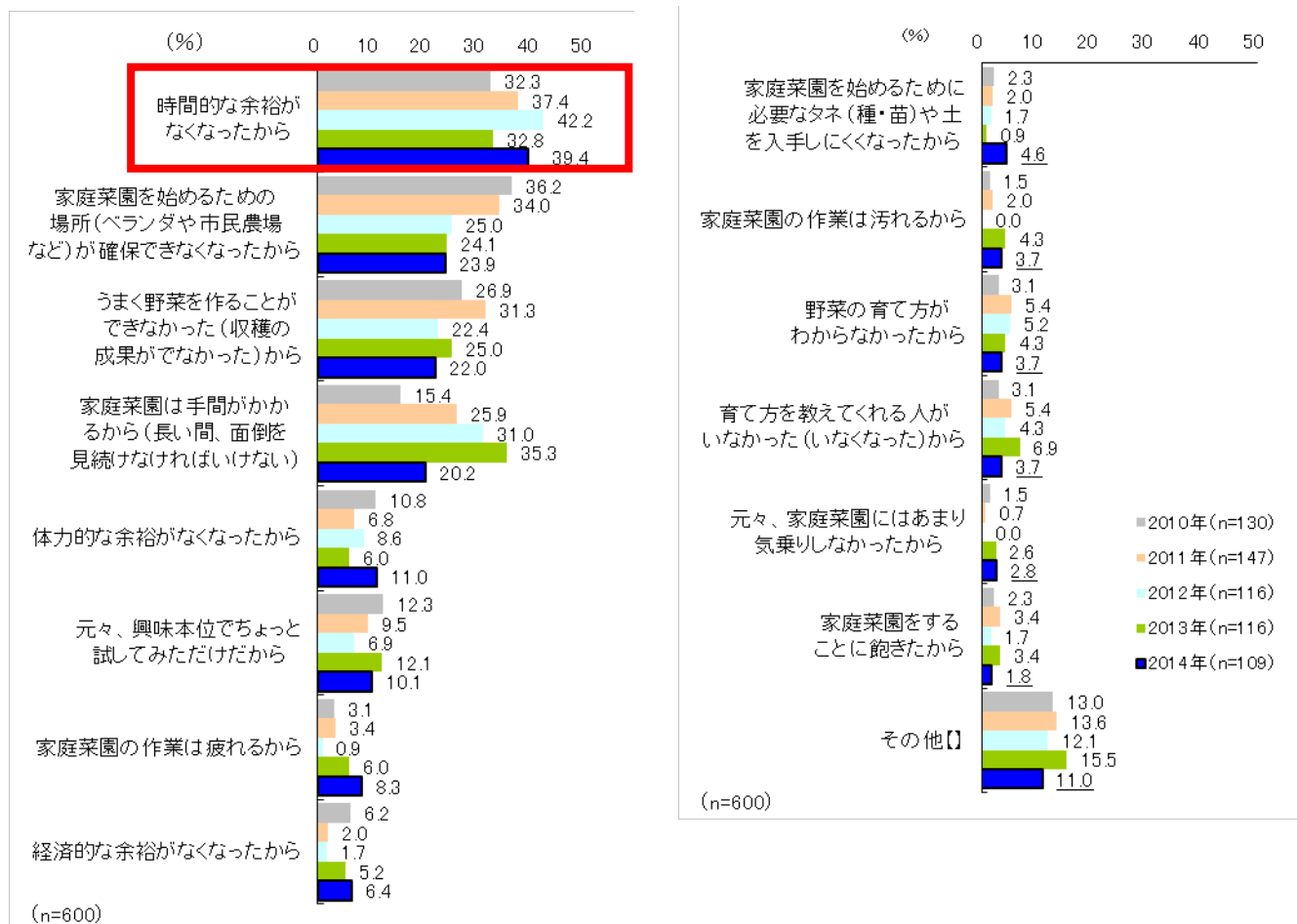
家庭菜園の経験—住まい別—



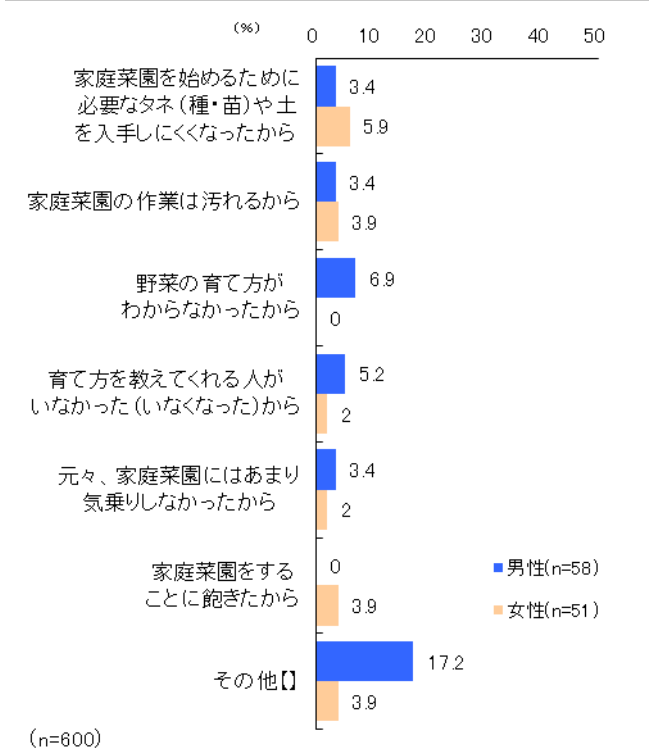
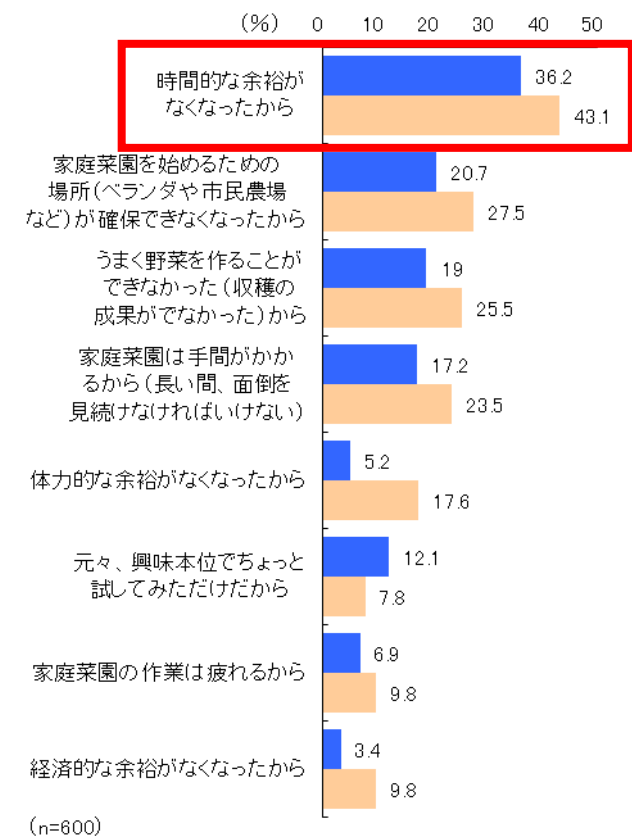
Q. 家庭菜園を現在していない(やめている)理由は何ですか？あてはまるものすべてに回答してください。

家庭菜園をしていない理由のトップは「時間的な余裕がなくなったから」で約4割を占めた。以下は「庭菜園を始めるための場所(ベランダや市民農場など)が確保できなくなったから」、「うまく野菜を作ることができなかった(収穫の成果がでなかった)から」、「家庭菜園は手間がかかるから(長い間、面倒を見続けなければいけない)」の順で、いずれも2割を超えた。これら4項目は過去5年において、いずれも上位を占めており、時間、場所、成果、手間が、足かせとなっていることを示している。男女別では、女性の「時間的な余裕がなくなったから」(43.1%)が高かった。女性の社会進出や子育てなどで、家庭菜園を行う時間を確保できないものと思われる。

家庭菜園をしていない理由

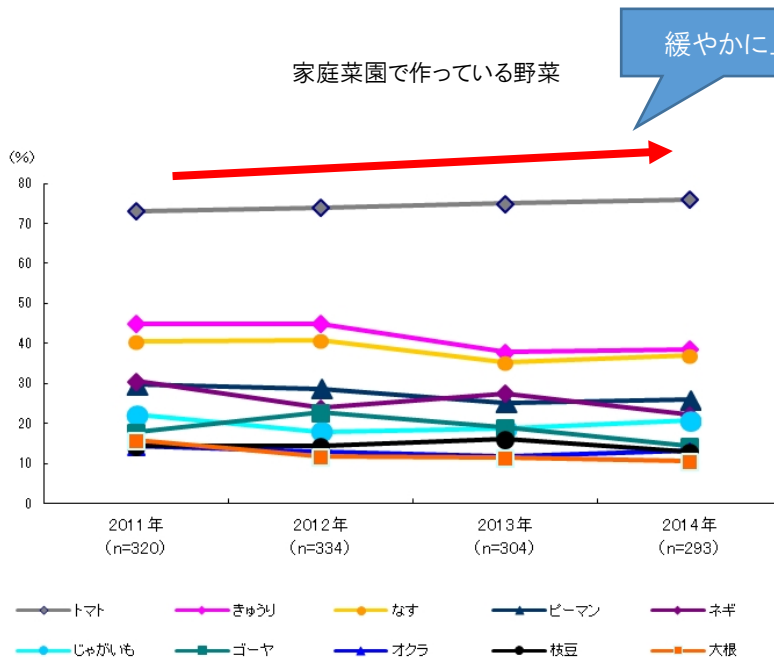


家庭菜園をしていない理由－男女別－



Q. あなたが家庭菜園で作っている野菜は何ですか？あてはまるものすべてに回答してください。※過去に経験があり、現在はしていない人も、家庭菜園をやっていたときに栽培していた野菜を回答してください。

現在、家庭菜園で作っている野菜のトップは「トマト」。年々、比率は上昇しており、今回は 76.1%と 8 割に迫った。これに続くのは、「キュウリ」、「ナス」、「ピーマン」、「ネギ」、「じゃがいも」の順だった。これは男女別でも違いはなく、「トマト」はいずれも 7 割台後半と比率は高い。



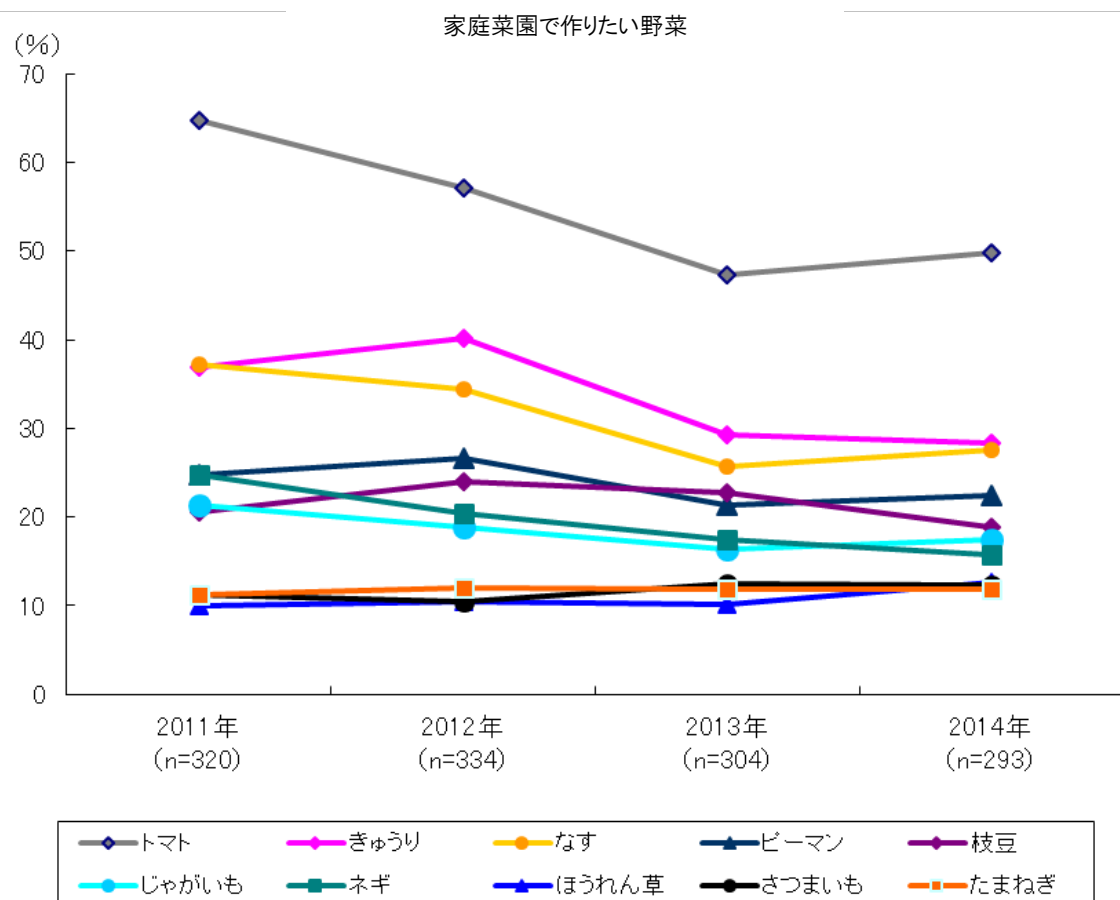
		2011年 (n=320)	2012年 (n=334)	2013年 (n=304)	2014年 (n=293)
1位	トマト	73.1	74.0	75.0	76.1
2位	きゅうり	45.0	44.9	37.8	38.6
3位	なす	40.6	40.7	35.2	37.2
4位	ピーマン	29.7	28.7	25.3	25.9
5位	ネギ	30.6	24.0	27.6	22.2
6位	じゃがいも	22.2	18.0	18.8	20.8
7位	ゴーヤ	17.8	22.8	19.1	14.3
8位	オクラ	14.4	12.9	11.8	13.3
9位	枝豆	14.4	14.4	16.1	13.0
10位	大根	15.9	11.7	11.5	10.6

※順位は 2014 年度のものとします。

Q. あなたが今後家庭菜園で作りたい野菜は何ですか？あてはまるものすべてに回答してください。

※過去に経験があり、現在はしていない人も、再び家庭菜園をやったときに栽培してみたい野菜を回答してください。

今後、家庭菜園で作りたい野菜ではトップが「トマト」で49.8%とほぼ半数を占めた。以下は「キュウリ」、「ナス」、「ピーマン」、「エダマメ」の順。現在、作っている野菜と上位はほぼ同じであることから、継続して同一野菜を作りたいとの意志が現れていることになる。男女別でも大きな違いはない。大半の野菜で男性よりも女性のほうが比率は高く、家庭菜園に対して意欲的な面が伺える結果となっている。

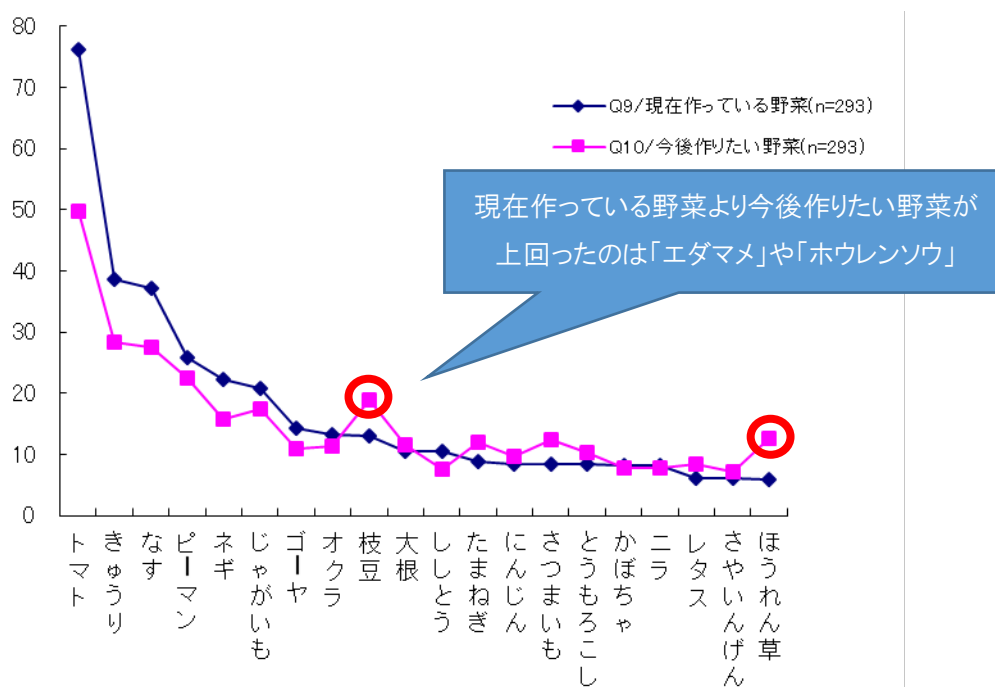


		2011年 (n=320)	2012年 (n=334)	2013年 (n=304)	2014年 (n=293)
1位	トマト	64.7	57.2	47.4	49.8
2位	きゅうり	36.9	40.1	29.3	28.3
3位	なす	37.2	34.4	25.7	27.6
4位	ピーマン	24.7	26.6	21.4	22.5
5位	枝豆	20.6	24.0	22.7	18.8
6位	じゃがいも	21.3	18.9	16.4	17.4
7位	ネギ	24.7	20.4	17.4	15.7
8位	ほうれん草	10.0	10.5	10.2	12.6
9位	さつまいも	11.3	10.5	12.5	12.3
10位	たまねぎ	11.3	12.0	11.8	11.9

※順位は 2014 年度のものととなります。

現在、家庭菜園で作っている野菜と、今後、家庭菜園で作りたい野菜を比較すると、共に「トマト」が最も高いものの、今後作りたい野菜では 5 割を割り込んでいる。逆に、現在作っている野菜よりも今後作りたい野菜の方が高い比率を示した野菜は、「エダマメ」が 5 ポイント、「ホウレンソウ」が 6.8 ポイント上回った。

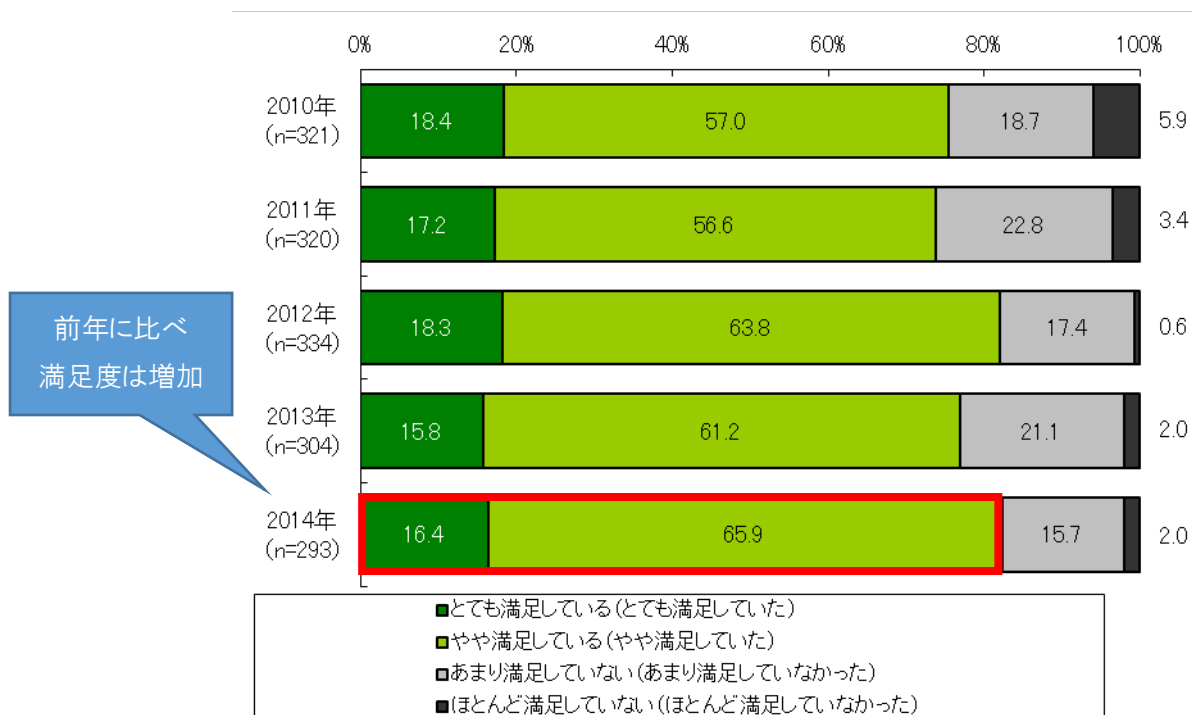
家庭菜園で作っている野菜と作りたい野菜の比較



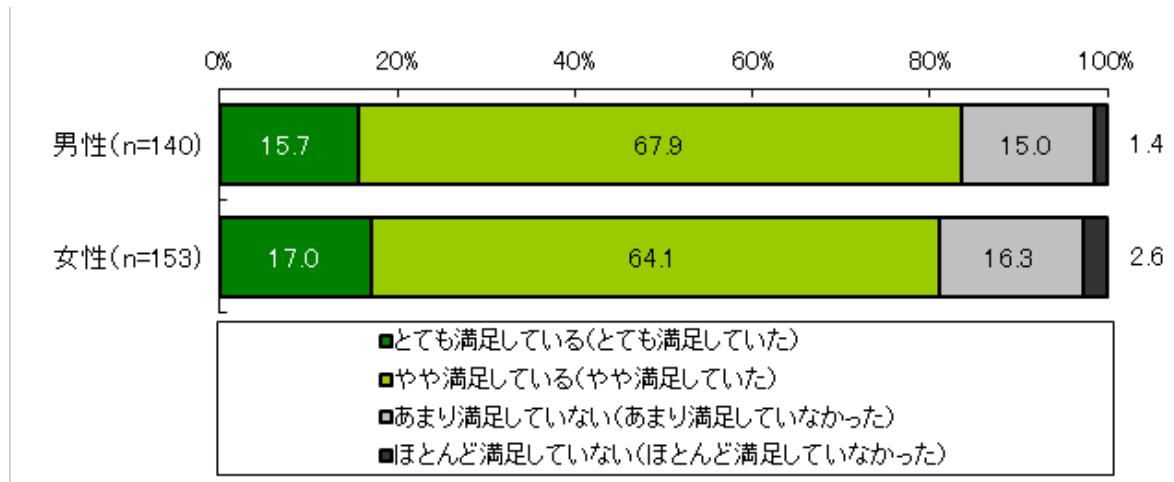
Q.あなたは、家庭菜園で野菜を作っている(作っていた)ことにどの程度満足していますか。あてはまるもの一つに回答してください。

家庭菜園を作ることの満足度では、3年連続で「やや満足している(やや満足していた)」が6割を超えており、次いで「とても満足している(とても満足していた)」の順。圧倒的に満足派が不満派を上回っている。男女差はないが、年代別では60代以上は「とても満足」の比率がもっとも高く、対極となる「ほとんど満足していない」は皆無であったが、50代では「とても満足」が低い一方で、「ほとんど満足していない」は 6.5%ともっとも高くなり、中高年層でばらつく結果となっている。

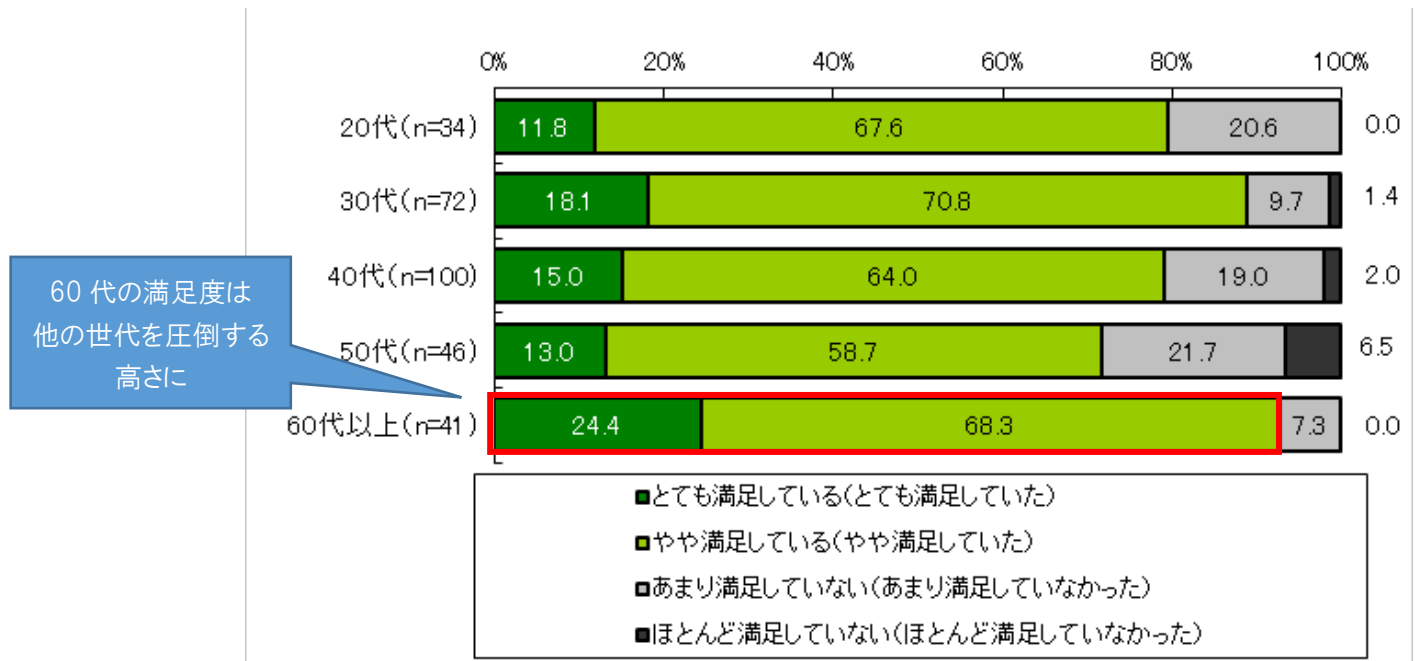
家庭菜園の満足度



家庭菜園の満足度－男女別－



家庭菜園の満足度－年代別－



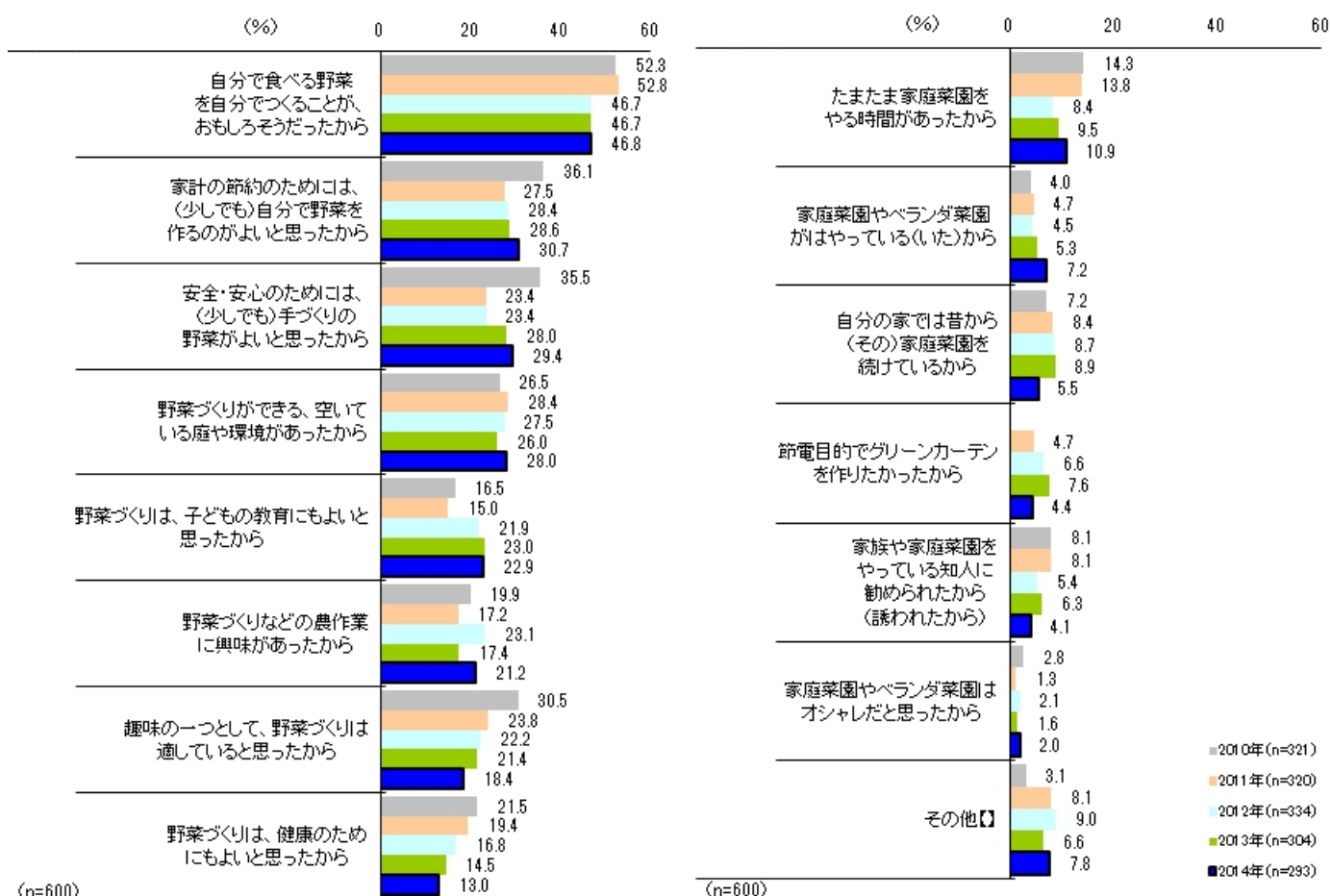
Q. あなたが家庭菜園を始めた理由は何ですか。あてはまるものすべてに回答してください。

※過去に経験があり、現在はしていない人も、家庭菜園を始めたときの理由を回答してください。

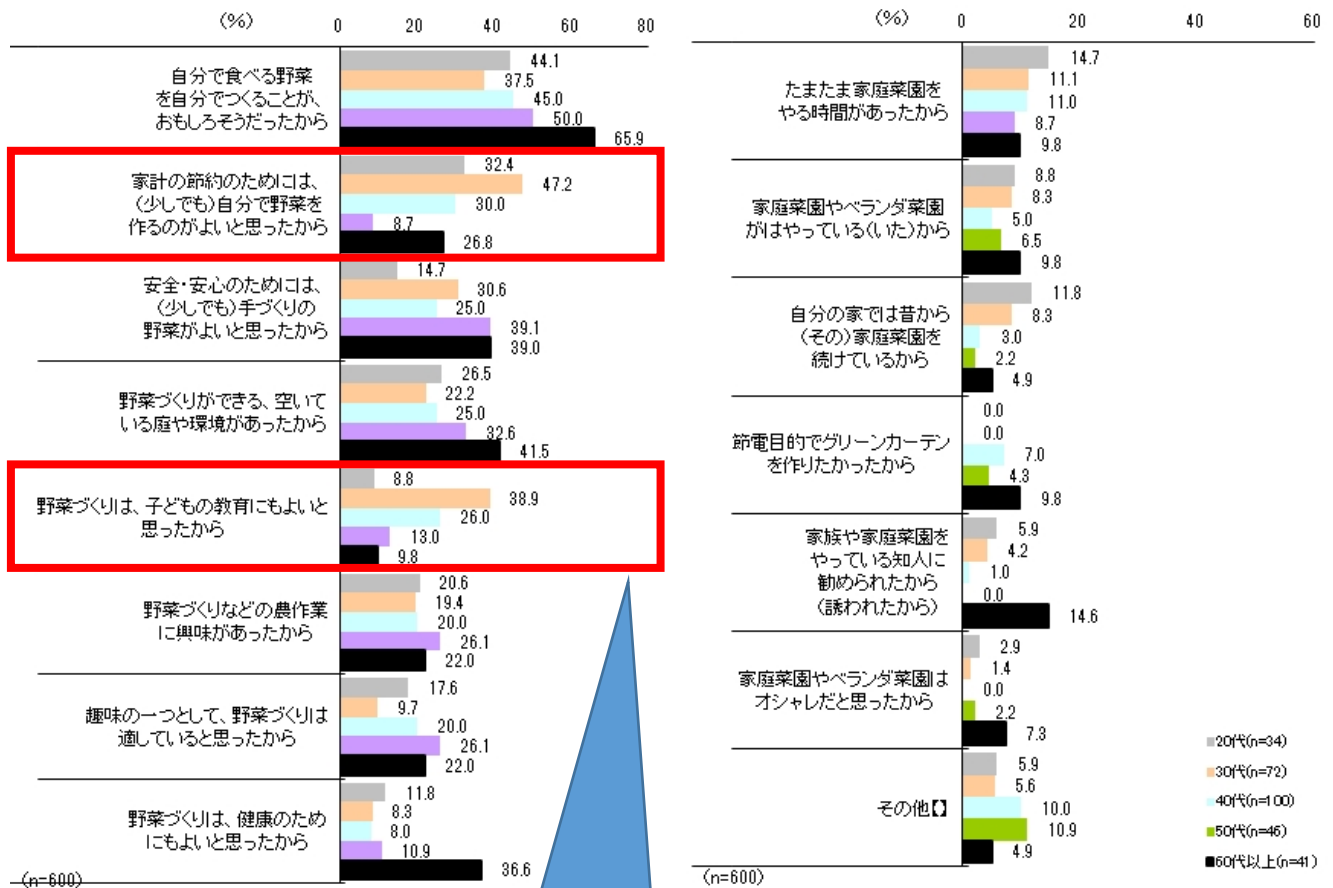
家庭菜園を始めた理由のトップは、過去 4 年の調査結果と同様に「自分で食べる野菜を自分でつくるのが、おもしろそうだったから」で、今回もほぼ半数を占めた。以下は「家計の節約のためには、(少しでも)自分で野菜を作るのがよいと思ったから」、「安全・安心のためには、(少しでも)手づくりの野菜がよいと思ったから」の順。経年変化で目につく項目は「趣味の一つとして、野菜づくりは適していると思ったから」で、年々比率は低下傾向にある。趣味としてではなく、野菜の安全性や家計の手助けなどが菜園を始めるきっかけとなっているようだ。

年代別では、60 代以上で「自分で食べる野菜を自分でつくるのが、おもしろそうだったから」(65.9%)、「野菜づくりができる、空いている庭や環境があったから」(41.5%)、「野菜づくりは、健康のためにもよいと思ったから」(36.6%)、「家族や家庭菜園をやっている知人に勧められたから(誘われたから)」(14.6%)が他の年代に比べて高い比率を示した。30 代では、「家計の節約のためには、(少しでも)自分で野菜を作るのがよいと思ったから」(47.2%)、「野菜づくりは、子どもの教育にもよいと思ったから」(38.9%)が、他の年代に比べて高い比率を示した。家族のことを考えて、家庭菜園を始めていることが伺える結果となった。

家庭菜園を始めた理由



家庭菜園を始めた理由 年代別

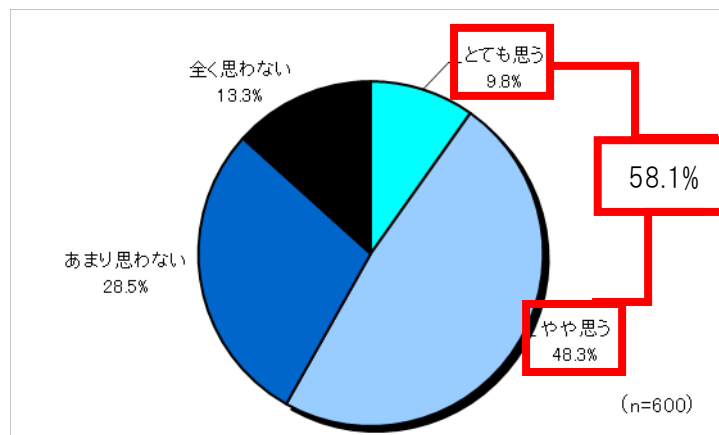


30代は家族のことを考えて家庭菜園を始める人が他の世代に比べて高い

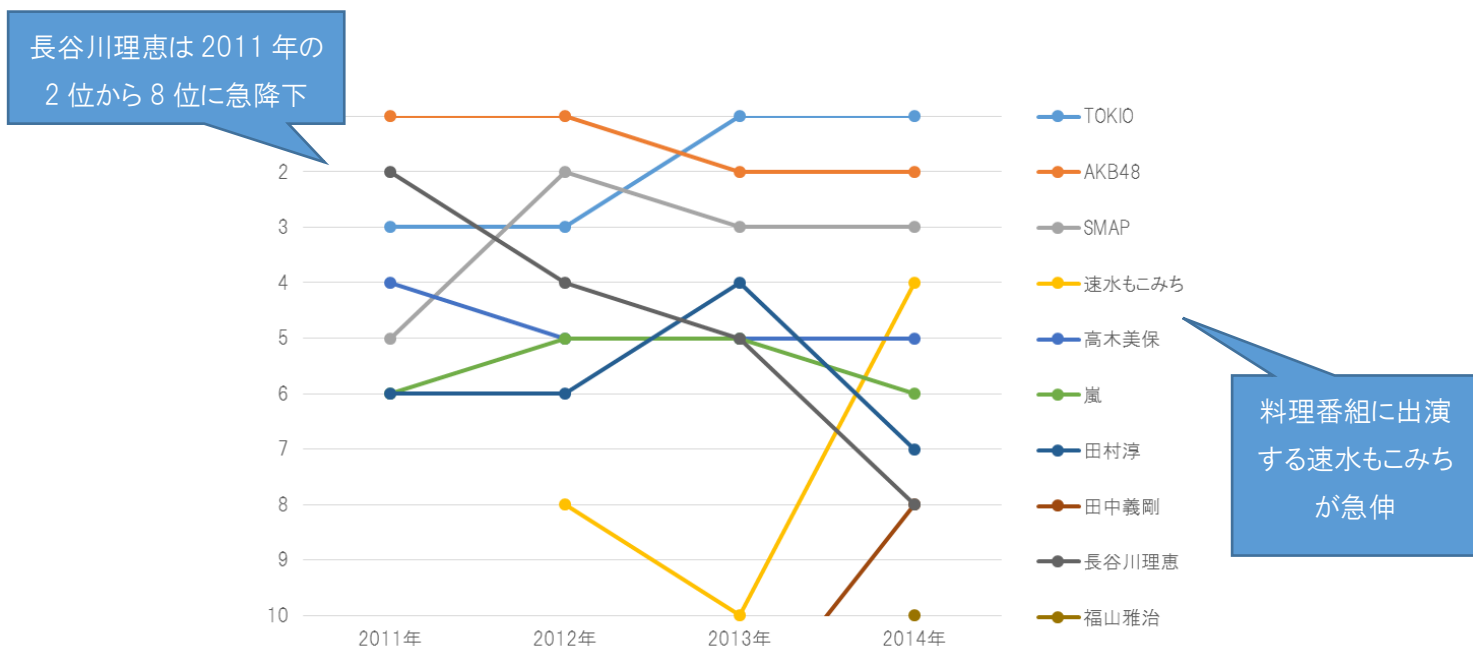
Q. 「機能性野菜」を育ててみたいと思いますか？

機能性野菜の栽培については、「とても(してみたい)思う」が 9.8%、「やや(してみたい)思う」が 48.3%で、栽培意向率は約 6 割を占めている。

機能性野菜の栽培



野菜が似合うタレント・有名人は、前年に引き続き「TOKIO」が 1 位だった。2 位、3 位も前年と同様に「AKB48」、「SMAP」の順となった。4 位には一気に上昇した「速水もこみち」が支持を得た。1 位の「TOKIO」は、グループ名ではなく、「山口達也」、「城島茂」、「国分太一」とメンバー名を指定した回答もあった。「AKB48」では「指原莉乃」の名前があった。とくに「SMAP」は「草彅剛」、「木村拓哉」、「香取慎吾」の回答を加えると 4.9% となり、「AKB48」を抜いて 2 位に浮上する。また、6 位の「嵐」も各メンバーの回答を加えた場合、4 位まで順位が上昇する。

[illegible]

野菜をイメージする有名人トップ 10 の主な理由

順位	野菜をイメージする有名人	理由	性別	年齢	住まい	職業
1	TOKIO	ダッシュ村で農業をしていた印象が強いから	男性	22	神奈川県	会社員(事務系)
	TOKIO	鉄腕ダッシュと言う番組で、野菜や畑の事を取り上げているから	女性	53	兵庫県	専業主婦(主夫)
	TOKIO	DASH村などで自分たちで野菜などを育てているイメージから	女性	40	東京都	パート・アルバイト
2	AKB48	野菜ジュースのCMに出ていたから	男性	52	神奈川県	会社員(その他)
	AKB48	野菜の歌を歌っていたので	男性	28	神奈川県	会社員(技術系)
	AKB48	カゴメ野菜ジュースのCMが印象的だったから。	女性	26	愛知県	専業主婦(主夫)
3	SMAP	セロリという歌を持っているから	男性	43	東京都	公務員
	SMAP	番組で野菜などをたくさん使っているから	女性	62	茨城県	専業主婦(主夫)
	SMAP	ビストロSMAPで野菜の食材を扱っているイメージがあるから。	女性	40	福岡県	専業主婦(主夫)
4	速水もこみち	毎朝テレビ番組で料理コーナーを見ているから	男性	23	愛知県	会社員(技術系)
	速水もこみち	もこずキッチンで野菜を切っているイメージが強い	男性	62	大阪府	会社員(技術系)
	速水もこみち	モコズキッチンで、野菜料理を作っていたから。	女性	28	群馬県	専業主婦(主夫)
5	高木美保	田舎に住み、自分で野菜を育てたりしているから。	女性	32	北海道	会社員(その他)
	高木美保	栃木県那須に住んで農作業をしている	男性	66	埼玉県	パート・アルバイト
	高木美保	家庭農園を行っているから	男性	39	神奈川県	会社員(その他)
6	嵐	爽やかな感じ	女性	20	京都府	学生
	嵐	色々な食品のCMに出ているからです。	男性	44	愛知県	公務員
	嵐	CMでやっていた。さわやかなイメージ	女性	44	埼玉県	専業主婦(主夫)